

年度 **2019**

授業担当者 **三保博子**

学年 **M1**

教科 **国語**

授業名 **国語**

週 **3** 時間

1 授業内容と進み方

基本、各学期ごとに説明的な文章と文学的な文章の両方に触れられるようにし、語彙力をつけながらそれぞれの読解力を磨く。調べ物学習などを通して情報を集めてまとめたり、紹介・朗読・発表等を通して話す力・聞く力を養う。また俳句・詩などを作ることにより創造力を、作文を書くことにより文章力をつける。3学期には「かるた大会」が実施されるので、2学期終わり～3学期初めには「古典」を扱う。

2 年間計画(単元名)

1 学期	野原はうたう
	花曇りの向こう
	ダイコンは大きな根？
	ちょっと立ち止まって
	詩の世界
2 学期	大人になれなかった弟たちに
	星の花が降るころに
	シカの「落ち穂拾い」
	月に思う(百人一首)
3 学期	蓬萊の玉の枝
	今に生きる言葉
	少年の日の思い出

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
国語1	光村図書
新国語要覧	大修館書店
百人一首	
その他	

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	漢字・意味テスト等
平常点	宿題・課題などの提出状況や出来栄

5 その他

中学1年生の国語は、教科書を用いた読解中心の授業3時間を三保が担当し、文法の授業1時間を岩瀬が担当します。

年度 2019

授業担当者 岩瀬 文

学年 M1

教科 国語

授業名 文法

週 1 時間

1 授業内容と進み方

テキストを用いて、国文法を扱う。文節や主語-述語の構造をはじめとする、基礎的な日本語の理解を目標とする。随時、新聞等を用いて理解を深める。

2 年間計画(単元名)

1 学期	言葉の単位
	文節の働き(文の成分)
	文の組み立て
2 学期	文の組み立て
	単語の種類
	主語になる単語(体言)
3 学期	述語になる単語(用言)

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
まんがで理解 楽しい文法	とうほう
朝日小学生新聞	朝日出版

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
平常点	授業態度、提出物

5 その他

中学部1年生の国語は読解3時間、文法1時間で構成されています。学期末の成績は読解と文法を合算して出すことになります。

年度 **2019**

授業担当者 **岩瀬 丈**

学年 **M2**

教科 **国語**

授業名 **国語**

週 **3** 時間

1 授業内容と進み方

教科書の論説文と小説文の読解分野を中心として扱う。論説文では文章の構造を理解し、小説文では登場人物の心情変化をとらえることを目標とする。各単元でレポート課題を課し、より主体的な理解をはかる。

2 年間計画(単元名)

1 学期	見えないだけ
	アイスプラネット
	枕草子
	生物が記録する科学
	言葉の力
2 学期	盆土産
	字のない葉書
	モアイは語る
	扇の的
	漢詩の風景
3 学期	君は「最後の晩餐」を知っているか
	走れメロス

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
国語2	光村図書

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
レポート	単元別に論述レポートを課す。
平常点	授業態度等

5 その他

中学部2年生の国語は読解3時間、文法1時間で構成されています。学期末の成績は読解と文法を合算して出すことになります。

年度 2019

授業担当者 平塚 斐女

学年 M2

教科 国語

授業名 文法

週 1 時間

1 授業内容と進み方

品詞のはたらきや使い方を学習し、日常生活でも正しく美しい日本語を運用する力を養う。これまで学習してきた各品詞についても復習し、実践問題を解いていく。文章を書く力にもつながる大事な単元であるため、授業に加え小テストや課題も適宜取り入れ、確実に定着させることを目標とする。

2 年間計画(単元名)

1 学期	* 6. 述語になる単語(用言)【復習】
	* 7. 修飾語になる単語(副詞、連体詞)
	* 8. 接続語・独立語になる単語(接続詞、感動詞)
2 学期	* 1学期の復習
	* 9. 付属語になる単語(助詞、助動詞)
3 学期	* 2学期の復習
	* 10. いろいろな表現(文法と日常生活、敬語)
	* 文語のきまり【予習】

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
まんがで理解 楽しい文法	とうほう

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	既習事項の理解度確認
平常点	授業態度、提出物

5 その他

中学2年生の国語は読解3時間、文法1時間で構成されています。学期末の成績は読解と文法を合算し、算出します。

年度 2019

授業担当者 谷岡 拓

学年 M3

教科 国語

授業名 国語

週 3 時間

1 授業内容と進み方

小説、論説、古典をバランスよく学ぶ。小説においては、登場人物の置かれた状況、言動に着目して、人物像を捉える。論説では、文章の構成を把握しながら内容理解に努める。古典では古文・漢文を扱う。
また、演習問題を通して、入試で得点を取るための解法を学ぶ。

2 年間計画(単元名)

1 学期	『握手』
	学びて時にこれを習ふー「論語から」
	『月の起源を探る』
2 学期	『高瀬舟』
	夏草ー「おくのほそ道」から
	入試対策
3 学期	『故郷』
	高校入学準備 評論文の読解

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
国語3	光村図書
全国入試問題正解 国語	旺文社
はじめての評論文20選	明治書院

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
作文	課題作文を定期的に課す。提出、内容を評価の対象とする。
小テスト	単元終了時に確認テストを行う。
平常点	

5 その他

中学部の3年生の国語は読解3時間、文法1時間で構成されています。学期末の成績は読解と文法を合算して出すことになります。

年度 **2019**

授業担当者 **野口 千穂**

学年 **M3**

教科 **国語**

授業名 **文法**

週 **1** 時間

1 授業内容と進み方

品詞の役割や用法を学習することで、文語文法への学習基盤を作る。古文読解にむけ、文語文法の「理解」と「定着」を目標とする。また、各用言を見て、種類に分け活用できるようにする。

2 年間計画(単元名)

1 学期	歴史的仮名遣い
	品詞の分類
	動詞の活用
	形容詞・形容動詞の活用
2 学期	1学期の復習
	助動詞の活用・識別
	百人一首
3 学期	文法まとめ
	百人一首

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
百人一首	ナツメ社
プリント(自作)	

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	文語文法の動詞・助動詞の確認テストを行う。
平常点	

5 その他

中学部の3年生の国語は読解3時間、文法1時間で構成されています。学期末の成績は読解と文法を合算して出すことになります。

年度 2019

授業担当者 野口 千穂

学年 H1

教科 国語

授業名 現代文

週 2 時間

1 授業内容と進み方

小説、評論文、随筆などをバランスよく学ぶ。小説では段落構成、本文を根拠にした状況、登場人物の心情を把握する。また、評論文では、頻出のテーマや用語を中心に、内容理解に努める。

2 年間計画(単元名)

1 学期	『羅生門』
	『バラは暗闇でも赤いか?』
	『デジタル社会』
2 学期	『ことばとは何か』
	『くわたし』のいる場所』
	『棒』
	短歌・俳句
3 学期	『二十億光年の孤独』
	『失われた両腕』
	『夢十夜』

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
国語総合・現代文	筑摩書房

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	漢字・用語・単元の確認テスト
平常点	

5 その他

年度 2019

授業担当者 三保博子

学年 H1

教科 国語

授業名 古典

週 2 時間

1 授業内容と進み方

* 文法は基礎から始め、1学期は用言を中心、2、3学期は助動詞・助詞・敬語を中心とし、最終的には品詞分解がスムーズにできるようにする。
 * 意味調べノートと本文ノートを作り、あらかじめ自力で予習して授業に臨む姿勢を定着させ、文法事項を確認しながら、実践的な古文読解の力をつけていく。
 * 随時、「古典常識」や「百人一首」の学習も取り入れる。
 * 漢文の基礎を身につける。

2 年間計画(単元名)

1 学期	児のそら寝
	絵仏師良秀
	大江山
2 学期	かぐや姫誕生(その他「竹取物語」)
	東下り
3 学期	土佐日記
	徒然草・方丈記冒頭
	漢文「古文入門」「虎の威を借る」

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
精選国語総合(古典編)	筑摩書房
体系古典文法	数研出版
古文単語FORMULA600	東進ブックス
百人一首	

4 評価方法

方法	備考
実力テスト	
期末試験	
小テスト	文法小テスト等
平常点	ノート作成・授業態度

5 その他

年度 **2019**

授業担当者 **平塚 斐女**

学年 **H2**

教科 **国語**

授業名 **現代文**

週 **2** 時間

1 授業内容と進み方

名作を読み、優れた文章に親しむことで言語感覚を磨く。本文を精読し、登場人物の心情や背景などの内容理解をするとともに、高い読解力を身につけていく。授業内では小説を中心に扱い、評論読解については授業内で学習したことをもとに、課題に取り組む。また、大学受験で必要なレベルの語彙力や記述力を養っていく。

2 年間計画(単元名)

1 学期	*『山月記』 中島敦
	* 評論読解(基礎)
2 学期	*『こころ』 夏目漱石
	* 評論読解(標準)
3 学期	*『舞姫』 森鷗外
	* 評論読解(発展)

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
精選 現代文B 改訂版	筑摩書房

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	漢字の読み書きや語彙の確認
平常点	
その他	* 課題への取り組み状況进行评估

5 その他

小テストでは、漢字の書き取りや語彙の意味などの理解度を確認します。様々な文章を読むうえで必要なレベルの知識を身につけることを目標とします。

年度 2019

授業担当者 谷岡 拓 岩瀬 丈

学年 H2

教科 国語

授業名 古文

週 2 時間

1 授業内容と進み方

今年度終了時点の目標は、文法事項を定着させ、文法の力を用いながら読解を深めていくことです。そのために1学期に文法事項、読解の基礎を学んでいきます。2学期より習熟度でクラスを分け、本格的に読解に取り組んでいきます。

2 年間計画(単元名)

1 学期	動詞、形容詞、形容動詞
	助動詞
	徒然草「序文」
	徒然草「これも仁和寺の法師」
2 学期	枕草子「中納言参りたまひて」
	源氏物語「桐壺」
	源氏物語「紫の上」
3 学期	
	更級日記
	蜻蛉日記

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
古典B 改訂版	筑摩書房
FOMULA600	東進ブックス

4 評価方法

方法	備考
小テスト	古文単語テスト
平常点	
期末試験	

5 その他

1学期は文法・読解の基礎を定着させ、2学期より習熟度別(2クラス)で学習を行う。

年度 2019

授業担当者 岩瀬 丈・野口 千穂

学年 H2

教科 国語

授業名 漢文

週 1 時間

1 授業内容と進み方

教科書の漢文作品を扱い、日本文化に多大な影響を与えた漢文への造詣を深めることを目標とする。広く、文章・史伝・漢詩等を学び、漢文読解の素地を形成する。副教材を用いて、文法の定着を図る。

2 年間計画(単元名)

1 学期	漢文基礎トレーニング1
	苛政猛於虎也
	鹿柴 登鶴鵲樓
	望廬山瀑布
	過故人莊
2 学期	漢文基礎トレーニング2
	先從隗始
	鴻門之會
3 学期	四面楚歌
	論語

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
精選国語総合古典編	筑摩書房
古典B 漢文編	筑摩書房

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	単元別内容理解問題
平常点	授業態度、提出物

5 その他

年度 2019

授業担当者 三保 博子・野口 千穂

学年 H2

教科 国語

授業名 文系古文

週 1 時間

1 授業内容と進み方

クラスを上下に分け、二人の教員が前半と後半で交替して受け持つ。文法・古典常識・文学史等の確認をしつつ、問題演習で読解力を実践的に養う。

2 年間計画(単元名)

1 学期	文法の基礎チェック
	古典常識
	問題演習(文法・読解)
2 学期	古典文学史
	問題演習(文法・読解)
3 学期	敬語チェック
	問題演習(総合)

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
精選国語総合	筑摩書房
古典B(古文編)	筑摩書房
体系古典文法	数研出版
古文単語FORMULA600	東進ブックス
その他	

4 評価方法

方法	備考
小テスト	古典常識テスト・敬語テスト等
平常点	宿題・課題・授業態度

5 その他

--

年度 2019

授業担当者 野口 千穂

学年 H3

教科 国語

授業名 文系現代文(上クラス)

週 3 時間

1 授業内容と進み方

評論文を中心に扱う。文中の言い換えや因果関係を理解し、選択肢の吟味を確実に行う。語彙、文学史などの知識を増やし、様々な分野に対する理解を深める。

2 年間計画(単元名)

1 学期	テーマ: 社会、自然、科学、芸術
	大学入試問題演習
2 学期	テーマ: 言語、思想、哲学、文化
	大学入試問題演習
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
全国入試問題正解 国語	旺文社

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
平常点	課題の提出・演習の正答率

5 その他

2学期にクラス替えを行う。

年度 **2019**

授業担当者 **谷岡 拓**

学年 **H3**

教科 **国語**

授業名 **文系現代文(中クラス)**

週 **3** 時間

1 授業内容と進み方

評論文を中心に扱う。文と文の関係、キーワード、段落の句切り、段落の役割、段落間の構成を考え、筆者の論証の仕方を解明していく。大学入試に頻出のテーマ順に問題演習を行っていく。

2 年間計画(単元名)

1 学期	テーマ:文化、社会、自然、科学
	大学入試問題演習
2 学期	テーマ:言語、思想、芸術、哲学、小説
	大学入試問題演習
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
全国入試問題正解 国語	旺文社
評論キーワード300	明治書院
標準 入試現代文	桐原書店

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	評論キーワードの小テストを定期的実施する。
平常点	授業内で演習した正答率を確認する。

5 その他

2学期にクラス替えを行う。

年度 **2019**

授業担当者 **岩瀬 丈**

学年 **H3**

教科 **国語**

授業名 **文系現代文(下クラス)**

週 **3** 時間

1 授業内容と進み方

評論文を中心に扱う。基本的な文章の読み方、文構造の理解、段落間の関係等をおさえ、文章を論理的に読んでいく力を養うことを目標とする。様々な文章に触れ、読解の量を増やしていく。

2 年間計画(単元名)

1 学期	テーマ:文化、社会、自然、小説
	集中2週間完成現代文【高校中級編】
	上級現代文 I
2 学期	テーマ:言語、思想、芸術、哲学、科学
	上級現代文 I
	大学入試問題演習
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
集中2週間完成現代文【高校中級用】	日栄社
上級現代文 I	桐原書店
全国入試問題正解 国語	旺文社

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
平常点	授業態度等

5 その他

2学期にクラス替えを行う。

年度 2019

授業担当者 谷岡 拓・平塚 斐女

学年 H3

教科 国語

授業名 文系古文(上・下クラス)

週 4 時間

1 授業内容と進み方

習熟度別2クラスに分けて行なう。基礎的な文法や単語を再確認し、大学入試過去問演習や講読を通して入試に対応できる力を養成する。

2 年間計画(単元名)

1 学期	* 文法・語彙の確認
	(上クラス)過去問演習、文法
	(下クラス)文法、過去問演習
2 学期	* 文法・語彙の確認
	(上クラス)過去問演習、講読
	(下クラス)講読、過去問演習
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
古文単語 FORMULA 600	東進ブックス
全国大学入試問題正解	旺文社

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	毎週火曜・土曜に行ないます。(範囲は別途連絡)
平常点	

5 その他

※2学期に成績によるクラス変動あり。

年度 2019

授業担当者 三保博子

学年 H3

教科 国語

授業名 全体現代文

週 1 時間

1 授業内容と進み方

センター試験(主に評論)に焦点を当て、語彙力を養いつつ評論読解・解法のテクニックを身につけさせる。基本的に演習形式だが、可能であれば各テーマに関するディスカッションや小論文も取り入れる。

2 年間計画(単元名)

1 学期	現代文単語(第1章～第2章)
	センター型問題演習
	受験頻出漢字の確認
2 学期	現代文単語(第3章～第4章)
	センター型問題演習
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
読解を深める現代文単語	桐原書店
センター入試過去問題集	
センター入試対策問題集	

4 評価方法

方法	備考
実力テスト	
中間試験	
作文	
期末試験	
平常点	授業態度・演習問題

5 その他

高3現代文は、本「全体現代文」(週1)と「文系現代文」(週3)を時間数に応じた割合で算出し、成績を出します。

年度 2019

授業担当者 平塚 斐女

学年 H3

教科 国語

授業名 選択国語

週 2 時間

1 授業内容と進み方

問題演習を中心に繰り返し行なう。扱う問題のレベルは早慶レベルと、難易度はやや高めに設定し、一般受験の対策を行っていく。学部や傾向別に演習を重ね、着実に実力アップを図る。

2 年間計画(単元名)

1 学期	* 過去問演習(早稲田、上智等)
2 学期	* 過去問演習(早稲田、上智等)
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
全国大学入試問題正解	旺文社

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
平常点	

5 その他

年度 2019

授業担当者 岩瀬 丈

学年 H3

教科 国語

授業名 小論文

週 1 時間

1 授業内容と進み方

小論文を書くことを目標とする。特に、AO入試や公募推薦等の小論文を書くに堪えるだけの知識技能を養う。

2 年間計画(単元名)

1 学期	テーマ:人文科学
	大学入試問題演習
2 学期	テーマ:人文科学(場合によってはそれ以外も扱う)
	大学入試問題演習
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
新小論文ノート	代々木ゼミナール
全国入試問題正解 国語	旺文社

4 評価方法

方法	備考
作文	各テーマ毎に完成した小論文を評価する。
平常点	授業態度等

5 その他

年度 2019

授業担当者 平塚 斐女

学年 H3

教科 国語

授業名 漢文

週 1 時間

1 授業内容と進み方

大学受験を突破する上で必要である基礎的な文法事項を学習し、定着させる。また、授業で扱った内容に関しては定期的に小テストを実施し、理解度を確認する。様々な作品を選読し読解力を身につけることで、入試でも高得点を獲得できる力を身につける。

2 年間計画(単元名)

1 学期	* 文法事項の学習(小テストを適宜実施)
	* 問題演習(読解)
2 学期	* 1学期の復習(文法など)
	* 過去問演習(レベル別、出題パターン別)
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
創作問題 基礎漢文	第一学習社
〈三訂版〉錬成 漢文	尚文出版

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	既習事項の確認
平常点	授業態度、提出物
その他	* 自主的に課題に取り組む姿勢を評価

5 その他

授業内で学習したことをしっかりと復習し、小テストで理解度を確認することが大切です。しっかりと基礎を定着させることが応用力につながります。

年度 2019

授業担当者 市川 公平

学年 M1

教科 社会

授業名 地理

週 4 時間

1 授業内容と進み方

- ・学習指導要領に準拠した、中学社会科の地理的分野の授業である。
- ・第1に教科書を読み、工夫してノート作りをすること、第2に地図帳やプリント学習で能動的に答えを探すことを大切にし、中学生として必要な授業参加姿勢を養う
- ・白地図ワークを中心としたワーク課題により、中学生として必要な自主学習の姿勢を養う
- ・映像資料を活用し、地理的事象を多角的に理解する機会をつくる
- ・フィールドワークを行い、イギリス社会を理解する機会をつくる

2 年間計画(単元名)

1 学期	第1編 世界のさまざまな地域
	第1章 世界の姿
	第2章 世界各地の人々の生活と環境
	第3章 世界の諸地域
2 学期	第3章 世界の諸地域
	第2編 日本のさまざまな地域
	第1章 日本の姿
	第2章 世界から見た日本の姿
	第3章 日本の諸地域
3 学期	第3章 日本の諸地域
	第4章 身近な地域の調査

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
新編 新しい社会 地理	東京書籍
中学校社会科地図	帝国書院
新編 新しい社会 地理 基礎・基本徹底白地図ノート(世界編/日本編)	東京書籍

4 評価方法

方法	備考
中間試験	
期末試験	
小テスト	国名テスト、県名テストを中心とする
レポート	フィールドワーク
平常点	授業態度、宿題などの提出物

5 その他

年度 2019

授業担当者 森 弥栄子

学年 M2

教科 社会

授業名 歴史

週 4 時間

1 授業内容と進み方

原始の時代から近代までを、
◆人の社会、また日本という社会が何を基盤に成り立っているのかを考えながら、現在との繋がりをふまえて学ぶ。
◆どうしてそうなるのか、ある条件が揃うと社会はどのように動くのか、何の目的で行われるのか、など構造や脈絡を考えながら、歴史を通じて社会を学習する。

2 年間計画(単元名)

1 学期	世界の古代文明と、ギリシャ・ローマの文明
	日本の原始時代、古墳時代
	日本の国家の成立と、政治のしくみの成り立ち(律令国家)
	律令制による政治の確立と、課題・取り組み (鎌倉幕府の政治)
2 学期	武家政権の特徴と変化、その意義(鎌倉幕府→室町幕府)
	戦国時代
	江戸時代の政治、経済の発達、社会・文化の発達
3 学期	明治時代: 近代的制度とは何か、内容・その意味
	明治・大正時代の経済の発達
	明治・大正・昭和初期の戦争と政治、経済

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
(教科書)新しい社会 歴史	東京書籍
(資料集)歴史の資料	正進社
(問題集)基礎・基本徹底ワーク 歴史	東京書籍

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
中間試験	進度により、実施することがある。
小テスト	単元ごとに行う。
平常点	小テストの直し、ノート提出、問題集を活用した問題演習、プリントや課題提出などを平常点として評価する。

5 その他

◆1学期は週に3回、2学期は週に5回、3学期は週に4回の授業として行う見込み。
予定は変更されることがある。

年度 **2019**

授業担当者 **市川 公平**

学年 **M3**

教科 **社会**

授業名 **公民・歴史**

週 **4** 時間

1 授業内容と進み方

- ・学習指導要領に準拠した、中学社会科の歴史(週1時間)・公民(週3時間)的分野の授業である
- ・第1に教科書を読み、工夫してノート作りをすること、第2に資料集やプリント学習で能動的に答えを探すことを大切にし、中学生として必要な授業参加姿勢を養う
- ・問題集プリントを中心としたワーク課題により、中学生として必要な自主学習の姿勢を養う
- ・映像資料の活用やグループワークにより、多角的に理解、考察する機会をつくる
- ・レポート課題により、調査、表現、発表の技能を養う

2 年間計画(単元名)

1 学期	【公民的分野】第1章 現代社会と私たちの生活
	第2章 個人の尊重と日本国憲法
	第3章 現代の民主政治と社会
	【歴史的分野】第5章 開国と近代日本の歩み
	第6章 二度の世界大戦と日本
2 学期	【公民的分野】第3章 現代の民主政治と社会
	第4章 私たちの暮らしと経済
	【歴史的分野】第6章 二度の世界大戦と日本
	第7章 現代の日本と世界
3 学期	【公民的分野】第4章 私たちの暮らしと経済
	第5章 地球社会と私たち
	【歴史的分野】第7章 現代の日本と世界

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
新編 新しい社会 公民	東京書籍
新編 新しい社会 歴史	東京書籍
歴史の資料	

4 評価方法

方法	備考
中間試験	
期末試験	
レポート	
平常点	

5 その他

第1学期は市川が担当する。
第2学期以降の授業内容、授業計画、評価方法は予定である。

年度 2019

授業担当者 小坂 剛

学年 H1

教科 社会

授業名 世界史

週 2 時間

1 授業内容と進み方

- ・世界の古代史を追いながら、社会の見方を身につける。
- ・人間の歴史は社会的・自然的な環境によって形成されているということを学ぶ。
- ・授業者作成のプリントおよび資料集、教科書を用いる。定期的に小テスト・宿題を課す。
- ・授業は、授業者による講義形式と生徒によるディスカッション、調べ学習・プレゼンテーションを取り入れながら行われる。講義形式の際も、生徒に思考を促す質問を多くするので、集中して取り組むことを求める。

2 年間計画(単元名)

1 学期	序章 先史の世界
	第1章 オリентと地中海世界
	1 古代オリент世界
	2 ギリシア世界(～直接民主政の完成)
2 学期	2 ギリシア世界(マケドニア～)
	3 ローマ世界(～内乱の一世紀)
3 学期	3 ローマ世界(ローマ帝国～)
	第2章 アジア・アメリカの古典文明
	1 インドの古典文明
	2 中国の古典文明(～後漢)

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
世界の歴史	山川出版社
詳説世界史	山川出版社
世界史詳覧	浜島書店

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
レポート	授業内容について、調べ学習を求める
平常点	授業中の参加・質問への解答、取り組み。
小テスト	定期的に基礎事項の確認を行う。
その他	問題演習やマインドマップの作製を宿題として課す。
その他	長期休暇中の課題など

5 その他

予習(教科書に目を通す)→授業→予習というサイクルを大切にしてほしい。特に授業・復習の段階では、考え方や知識を頭に入れるよう努めること。なお、世界史の教科書に出てくる古典的な著作にはできる限り触れて欲しい。

年度 **2019**

授業担当者 **森 弥栄子**

学年 **H1**

教科 **社会**

授業名 **日本史**

週 **2** 時間

1 授業内容と進み方

- ①日本の成立期:環境、気候などと原始時代の生活成立の関連性を学び、日本社会の基本を知る。
生活の変化・発展と共に、社会にどのような影響・変化がもたらされたかを学ぶ。
- ②古墳と日本統一の関連性を学ぶ。
- ③推古朝・大化改新を通じて、政治制度の確立が何を基本とし、どのような考え方に基づいて作られたかを学ぶ。
- ④奈良・平安時代初期を通じて、政治制度の課題と再建の取り組みを通じ、貴族社会への変容を学ぶ。
- ⑤土地制度を学び、稲作農業基盤の社会がどのような社会制度を作っていくのかを学ぶ。

2 年間計画(単元名)

1 学期	日本のあけぼの、旧石器時代、縄文時代、弥生時代
	古墳とヤマト政権の成立、大化改新、律令国家の建設
	飛鳥文化、白鳳文化
2 学期	奈良時代の政治闘争史、土地制度の確立と変容
	平安初期の律令政治再建の試み
	天平文化、弘仁・貞観文化
3 学期	摂関政治と地方政治の変容・武士の登場
	土地制度の変容
	国風文化

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
(教科書)詳説 日本史B	山川出版社
(資料集)新詳 日本史	浜島書店

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	単元ごとにまとめの小テストを定期的に行う。
平常点	小テストの直し、日常的な宿題、取り組みプリントの提出などを平常点として評価する。
その他	2学期以降、古代行政区画、都道府県・県庁所在地のテストを行う。

5 その他

- ◆2019年度は、1学期は週に4回、2学期は週に1回、3学期は週に1回の授業を行う見込み。
- ◆暗記ではなく、因果関係や意義などの理解を中心とした授業を行い、習熟度を求める。
- ◆授業と並行し、日常的に演習問題プリントを配布し、日常学習用の基本的な理解を求める問題や、構造理解を求める記述問題に取り組んでいく。
- 予定は変更されることがある。

年度 **2019**

授業担当者 **市川 公平**

学年 **H1**

教科 **社会**

授業名 **地理**

週 **2** 時間

1 授業内容と進み方

- ・高校社会科必修選択科目の地理の授業である
- ・授業プリントとレポートを中心に進めていく
- ・リサーチ、グループワーク、映像資料の活用により、多角的に事象をとらえる機会をつくる

2 年間計画(単元名)

1 学期	地理情報と地図
	自然環境
	・地形と災害
	・気候と環境問題
2 学期	資源と産業
	・農業と食糧問題
	・資源とエネルギー問題
3 学期	資源と産業
	・世界の工業
	・第3次産業

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
高等学校 新地理A	帝国書院
新詳地理B	帝国書院
新詳高等地図	帝国書院

4 評価方法

方法	備考
中間試験	
期末試験	
レポート	学期中複数回実施
平常点	

5 その他

2019年度は、1学期は週に4回、2学期は週に1回、3学期は週に1回の授業を行う見込み。

年度 **2019**

授業担当者 **小坂 剛**

学年 **H2**

教科 **社会**

授業名 **世界史**

週 **5** 時間

1 授業内容と進み方

- ・世界の中世史を追いながら、社会の見方を身につける。
- ・古代から中世～近代前期までの出来事を横軸への配慮をしながら、その形成の理由、社会変動の条件などを考えながら学ぶ。
- ・授業者作成のプリントおよび資料集、教科書を用いる。定期的に小テスト・宿題を課す。
- ・授業は、授業者による講義形式と生徒によるディスカッション、調べ学習・プレゼンテーションを取り入れながら行われる。講義形式の際も、生徒に思考を促す質問を多くするので、集中して取り組むことを求める。

2 年間計画(単元名)

1 学期	第2章 アジア・アメリカの古典文明
	3 中国の古典文明
	第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成
	第4章 イスラーム世界の形成と発展
2 学期	第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開
	第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開
	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展
	第7章 アジア諸地域の繁栄
3 学期	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成
	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開
	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
詳説世界史	山川出版社
世界史詳覧	浜島書店

4 評価方法

方法	備考
期末試験	3学期は中間テストを実施する予定
レポート	授業内容について、調べ学習を求める
平常点	授業中の参加・質問への解答、取り組み。
小テスト	定期的に基礎事項の確認を行う。
実力テスト	既習範囲を各長期休暇明けにテストする。
その他	長期休暇中の課題など。問題演習やマインドマップの作製を宿題として課す。

5 その他

予習(教科書に目を通す)→授業→予習というサイクルを大切にしてほしい。2年生以降は急速に進度があがるので、試験前の俄か勉強では追いつかなくなる。特に授業・復習の段階では、考え方や知識を頭に入れるよう努めること。なお、世界史の教科書に出てくる古典的な著作にはできる限り触れて欲しい。※ハーフターム前は週2時間、その後は5時間。

年度 **2019**

授業担当者 **森 弥栄子**

学年 **H2**

教科 **社会**

授業名 **日本史**

週 **5** 時間

1 授業内容と進み方

- ①1学期は、中世史を通じて、武士(土地に根ざす人々)を通じて、政治運営の特徴と社会経済発展を学ぶ。
 ②2学期は、1学期と同様。及び近世に近づき、社会経済の発展が政治、民衆生活、外交にどのような影響をもたらしたかを学ぶ。
 ③3学期は、江戸時代(近世)の社会が、鎖国という状況下でどのような社会経済の発展があり、政治にどのような課題を持ち、それがどのように経済と深い関係性を持ったかを学ぶ。

2 年間計画(単元名)

1 学期	摂関政治期の武士の登場と、土地制度の変化、関係性
	院政の展開と武家政権の成立の関連性
	鎌倉幕府と、武家政権の運営の特徴、経済史(商工業の勃興)
	鎌倉文化
	南北朝の動乱と室町幕府の成立
2 学期	室町幕府史と戦国時代
	社会経済史(民衆活動と商工業の勃興と発展)
	織豊政権と社会経済の発展
	幕藩体制の成立と基本構造
	室町文化、桃山文化、寛永期の文化
3 学期	江戸時代史
	元禄文化、宝暦・天明の文化、化政文化
	開国

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
(教科書)詳説 日本史B	山川出版社
(資料集)新詳 日本史	浜島書店

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
中間試験	受講者と話し合った上で実施することがある。
実力テスト	
小テスト	前週の学習範囲を、翌週はじめの授業で行う。
平常点	小テストの直し、プリント課題などを課す。
その他	長期休暇中に、学習課題を課す。

5 その他

- ◆1学期ハーフターム前までは、週2回の授業を行う。(G.C.S.E.Biology試験に伴う)
 ◆授業と並行し、日常的に演習問題プリントを配布し、日常学習用の基本的な理解を求める問題や、構造理解を求める記述問題に取り組んでいく。
 予定は変更されることがある。

年度 **2019**

授業担当者 **市川 公平**

学年 **H2**

教科 **社会**

授業名 **理系地理**

週 **2** 時間

1 授業内容と進み方

- ・理系コースの生徒を対象に、国立大学入試「地理B」の内容を網羅する、演習科目である
- ・地理Bの内容に準拠した授業プリントを中心に進めていく
- ・問題演習を多く行い、実践力を養う

2 年間計画(単元名)

1 学期	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察
	2章 資源と産業
	3章 人口・村落・都市
2 学期	4章 生活文化、民族・宗教
	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察
	・東アジア
3 学期	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察
	・東南アジア
	・南アジア
	・西アジアと中央アジア
	・北アフリカとサハラ以南のアフリカ

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
新詳地理B	帝国書院
新詳高等地図	帝国書院

4 評価方法

方法	備考
中間試験	
期末試験	
レポート	学期中複数回実施
平常点	問題演習の宿題が中心

5 その他

--

年度 **2019**

授業担当者 **小坂 剛**

学年 **H3**

教科 **社会**

授業名 **世界史**

週 **5** 時間

1 授業内容と進み方

・授業者が昨年度ビザの関係で渡英できず、その間帝国主義以降の歴史を学んでいるので、帝国主義の成立前夜までの歴史を学ぶ。
 ・近世～近代の歴史は、その爪痕を現代にまで残しているため、現在の世界状況にも触れながら、学習する。
 ・授業者作成のプリントおよび資料集、教科書を用いる。定期的に小テスト・宿題を課す。
 ・授業は、授業者による講義形式と生徒によるディスカッション、調べ学習・プレゼンテーションを取り入れながら行われる。講義形式の際も、生徒に思考を促す質問を多くするので、集中して取り組むことを求める。

2 年間計画(単元名)

1 学期	第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展
	第7章 アジア諸地域の繁栄
	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成
2 学期	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開
	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立
	第11章 欧米における近代国民国家の発展
	第12章 アジア諸地域の動揺
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
詳説世界史	山川出版社
世界史詳覧	浜島書店

4 評価方法

方法	備考
期末試験	3学期は中間テストを実施する予定
レポート	授業内容について、調べ学習を求める
平常点	授業中の参加・質問への解答、取り組み。
小テスト	定期的に基礎事項の確認を行う。
実力テスト	既習範囲を各長期休暇明けにテストする。
その他	長期休暇中の課題など。問題演習やマインドマップの作製を宿題として課す。

5 その他

予習(教科書に目を通す)→授業→予習というサイクルを大切にしてほしい。2年生以降は急速に進度があがるので、試験前の俄か勉強では追い付かなくなる。特に授業・復習の段階では、考え方や知識を頭に入れるよう努めること。なお、世界史の教科書に出てくる古典的な著作にはできる限り触れて欲しい。

年度 2019

授業担当者 森 弥栄子

学年 H3

教科 社会

授業名 日本史

週 5 時間

1 授業内容と進み方

近現代史

- ◆立憲制に基づく政治の仕組みが、戦争や経済との関わりの中で、民衆と政党の活動によって、どのように変化し、確立していったか、現在との繋がりをふまえて学ぶ。
- ◆戦争が、経済や政治、社会にどのような影響を与えたかを学ぶ。
- ◆日本経済の発展を、政治や戦争、民衆運動との関わりの中で、どのように変化し確立していったか、現在との繋がりをふまえて学ぶ。

2 年間計画(単元名)

1 学期	開国と経済・政治・社会への影響
	明治時代の政治、経済、社会、そして戦争
	大正時代の政治、経済、社会、そして外交と戦争
	昭和初期の政治、経済、社会、そして外交と戦争
2 学期	15年戦争と戦後史(ざっと通す)
	問題演習
3 学期	(H3受験のため、授業は行われない)

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
(教科書)詳説 日本史B	山川出版社
(資料集)新詳 日本史	浜島書店

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
中間試験	受講者と話し合った上で実施することがある。
実力テスト	
小テスト	前週の学習範囲を、翌週はじめの授業で行う。
平常点	小テストの直し、プリント課題などを課す。
その他	長期休暇中に、学習課題を課す。

5 その他

- ◆授業と並行し、日常的に演習問題プリントを配布し、日常学習用の基本的な理解を求める問題や、構造理解を求める記述問題に取り組んでいく。

年度 2019

授業担当者 市川 公平

学年 H3

教科 社会

授業名 理系地理

週 2 時間

1 授業内容と進み方

- ・理系コースの生徒を対象に、国立大学入試「地理B」の内容を網羅する、演習科目である
- ・地理Bの内容に準拠した授業プリントを中心に進めていく
- ・問題演習を多く行い、実践力を養う

2 年間計画(単元名)

1 学期	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察
	・東南アジア・南アジア・西アジアと中央アジア
	・北アフリカとサハラ以南のアフリカ
	・ヨーロッパ・ロシア
2 学期	・アングロアメリカ
	・ラテンアメリカ
	・オセアニア
	問題演習
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
新詳地理B	帝国書院
新詳高等地図	帝国書院

4 評価方法

方法	備考
中間試験	
期末試験	
レポート	学期中複数回実施
平常点	問題演習の宿題が中心

5 その他

年度 2019

授業担当者 小川 真一

学年 M1

教科 数学

授業名 数学

週 4 時間

1 授業内容と進み方

講義と演習で授業を進め、計算力強化のため、授業最初に計算小テストを行う。

2 年間計画(単元名)

1 学 期	正の数・負の数
	文字の式
2 学 期	方程式
	比例
	平面図形
3 学 期	反比例
	空間図形
	資料の活用

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
未来へひろがる数学1	啓林館

4 評価方法

方法	備考
1学期は、提出物	
2, 3学期は学期に2～3回の確認テスト	
期末考査	

5 その他

年度 2019

授業担当者 塩谷知紘

学年 M2

教科 数学

授業名 数量

週 3 時間

1 授業内容と進み方

「式の計算」、「連立方程式」、「一次関数」について学ぶ。日常にある事象と結びつけながら学習内容をつかむことができるようにする。単項式および多項式の計算や連立方程式の解法などを正確に知り、処理することができるようにする。ともなう変わる量を数学的に考察し、関数的なものの見方を養う。実態に合わせて学習内容を設定し、生徒との対話や生徒間での議論を活発にしながら授業を行う。

2 年間計画(単元名)

1 学期	式の計算
	連立方程式
2 学期	連立方程式
	一次関数
3 学期	一次関数
	問題演習

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
未来へひろがる数学2	啓林館

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	
平常点	

5 その他

年度 2019

授業担当者 小川 真一

学年 M2

教科 数学

授業名 数図

週 2 時間

1 授業内容と進み方

数図と数量に分けたうちの数図の授業である。講義と演習で授業を進め、計算力強化のため、授業最初に方程式の小テストを行う。

2 年間計画(単元名)

1 学期	4章図形の調べ方
2 学期	5章図形の性質と証明
3 学期	6章確率

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
未来へひろがる数学2	啓林館

4 評価方法

方法	備考
学期に2～3回の確認テスト	
期末考査	

5 その他

年度 2019

授業担当者 幸田宏美、塩谷知紘

学年 M3

教科 数学

授業名 数量

週 3 時間

1 授業内容と進み方

「式の展開と因数分解」、「平方根」、「二次方程式」、「関数 $y=ax^2$ 」について学ぶ。日常にある事象と結びつけながら学習内容をつかむことができるようにする。平方根を含む四則演算や二次方程式の解法などを正確に知り、処理することができるようにする。実態に合わせて学習内容を設定し、生徒との対話や生徒間での議論を活発にしながら授業を行う。

2 年間計画(単元名)

1 学期	式の展開と因数分解
	平方根
2 学期	二次方程式
	関数 $y=ax^2$
3 学期	問題演習

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
未来へひろがる数学3	啓林館

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	
平常点	

5 その他

--

年度 2019

授業担当者 小川 真一, 牧周佑

学年 M3

教科 数学

授業名 数図

週 2 時間

1 授業内容と進み方

クラスを2グレードに分け、それぞれのグループにあわせて授業を進めていく。
また、外部受験をする生徒にあわせ、2学期までに教科書の内容を終わらせ、3学期は特別な時間割を組む。

2 年間計画(単元名)

1 学期	円周角の定理
	相似
2 学期	平行線と線分比
	相似な図形と計量
	三平方の定理
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
未来へひろがる数学3	啓林館

4 評価方法

方法	備考
学期に2～3回の確認テスト	
期末考査	

5 その他

年度 2019

授業担当者 橋川浩治, 幸田宏美, 牧周佑

学年 H1

教科 数学

授業名 数学 I

週 4 時間

1 授業内容と進み方

文字式計算, 実数について学ぶ。1次不等式を学んだ後は、グラフを通じて2次不等式を解くことを理解する。図形と計量では三角比を学び、平面図形や空間図形の考察に役立てる

2 年間計画(単元名)

1 学期	数と式
	集合と命題
	2次関数のグラフ, 最大最小
2 学期	2次方程式, 2次関数
	グラフと方程式, 不等式
3 学期	三角比

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
数学 I	数研出版

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	基本問題の定着度を測る

5 その他

年度 2019

授業担当者 橋川浩治、牧周佑、塩谷知紡

学年 H1

教科 数学

授業名 数学A

週 3 時間

1 授業内容と進み方

記号による表現を身につける。中学校で学んだ知識を利用し、新しい表現を学ぶ。

2 年間計画(単元名)

1 学期	集合と要素
	場合の数
	順列・組合せ
	確率
2 学期	図形の性質
	整数の性質
3 学期	数列

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
数学A	数研出版

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	基本問題の定着度を測る

5 その他

年度 2019

授業担当者 幸田宏美、橋川浩治

学年 H2

教科 数学

授業名 数学Ⅱ

週 3・4 時間

1 授業内容と進み方

理系は週3時間、文系は週4時間。

2 年間計画(単元名)

1 学期	指数関数と対数関数
	式と証明
	複素数と方程式(複素数のみ)
2 学期	複素数と方程式(判別式以降)
	図形と方程式
3 学期	微分法と積分法

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
数学Ⅱ	数研出版

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	

5 その他

年度 2019

授業担当者 塩谷知紘

学年 H2

教科 数学

授業名 数学B

週 2 時間

1 授業内容と進み方

「数列」、「平面上のベクトル」、「空間のベクトル」について学ぶ。数列については、数学的帰納法のみを扱う。数学的帰納法を用いて証明することを知り、考えたことを論理的に表現できるようにする。ベクトルを用いて幾何学的な対象を扱い、それらを代数的に扱えることの良さを実感する。生徒との対話や生徒間での議論を活発にしながら授業を行う。

2 年間計画(単元名)

1 学期	数学的帰納法
	平面上のベクトル
2 学期	平面上のベクトル
	空間のベクトル
3 学期	問題演習

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
数学B教科書	数研出版

4 評価方法

方法	備考
中間試験	
期末試験	
平常点	
小テスト	

5 その他

年度 2019

授業担当者 塩谷知紘

学年 H2

教科 数学

授業名 私文数学

週 3 時間

1 授業内容と進み方

「指数と対数」、「図形と領域」、「微分積分」、「データの処理」について学ぶ。日常生活にある数学的な場面を多く扱い、実感を持って数学の良さを感じ取れるようにする。生徒との対話や生徒間での議論を活発にしながら授業を行う。

2 年間計画(単元名)

1 学期	指数・対数
	図形と領域
2 学期	微分積分
3 学期	データの分析

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
学習プリント	

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	
平常点	

5 その他

年度 2019

授業担当者 小川 真一

学年 H2

教科 数学

授業名 理系数学

週 4(5) 時間

1 授業内容と進み方

理系の生徒に対し、数学Ⅲの内容を講義および演習で進めていく。

2 年間計画(単元名)

1 学期	関数
	数列の極限
	級数
	関数の極限
2 学期	導関数
	微分法
	微分の応用
	不定積分
3 学期	定積分
	面積

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
高等学校数学Ⅲ	数研出版

4 評価方法

方法	備考
学期に2～3回の確認テスト	
期末考査	

5 その他

ハーフターム後、週5時間となる。

年度 2019

授業担当者 牧周佑

学年 H3

教科 数学

授業名 理系数学

週 5 時間

1 授業内容と進み方

積分の応用力を身につけ、然る後に、既習分野との融合問題に取り組む。曲線で囲まれた領域の面積、および体積、更に曲線の長さを求める計算力を身につける。2次曲線への応用、速度加速度問題への対応も意識して授業を進める。

2 年間計画(単元名)

1 学期	体積
	速度, 加速度
	曲線の長さ
2 学期	平均値の定理
	媒介変数表示による曲線の表し方
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
数学Ⅲ	数研出版

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	思考の記述力を重視する

5 その他

年度 2019

授業担当者 幸田 宏美

学年 H3

教科 数学

授業名 数学演習

週 5 時間

1 授業内容と進み方

大学入試問題を用いて、理論的思考の育成を図る。

2 年間計画(単元名)

1 学 期	方程式、不等式
	2次関数
	確率
	ベクトル
2 学 期	三角関数
	指数関数
	座標
	ベクトル
3 学 期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
自作プリント	

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
レポート	

5 その他

年度 2019

授業担当者 橋川浩治

学年 H3

教科 数学

授業名 センター数学ⅠA

週 2 時間

1 授業内容と進み方

2020年1月のセンター試験数学ⅠAの受験に備え、数学ⅠAの問題演習を行う

2 年間計画(単元名)

1 学期	三角比、平面図形、命題及び場合の数の問題演習
2 学期	確率、データの分析の問題演習
	センター試験数学ⅡBの過去問演習
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
自作演習プリント	

4 評価方法

方法	備考
期末試験	

5 その他

年度 2019

授業担当者 橋川浩治

学年 H3

教科 数学

授業名 センター数学ⅡB

週 2 時間

1 授業内容と進み方

2020年1月センター試験数学ⅡBの受験に備え、数学ⅡBの問題演習を行う

2 年間計画(単元名)

1 学期	三角関数、指数関数、対数関数及び微分積分の問題演習
2 学期	数列、ベクトルの問題演習
	センター試験数学ⅡBの過去問演習
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
自作演習プリント	

4 評価方法

方法	備考
期末試験	

5 その他

年度 **2019**

授業担当者 **奥野(1, 2学期)岡野(2, 3学期)**

学年 **M1**

教科 **理科**

授業名 **理科1分野**

週 **2** 時間

1 授業内容と進み方

- ・音と光の性質について実験を通して学ぶ。
- ・図を丁寧に書く姿勢を身につける
- ・力の種類、働きについて学ぶ。
- ・実験結果をグラフに表すことが出来るようにする。
- ・重力と質量の違い、圧力、浮力について学ぶ。
- ・物質は温度や圧力により状態が変化することを理解させる。
- ・金属と非金属のサンプルの密度・電気を通すか・磁石に付くかの実験を行う。
- ・水と反応する金属にもふれ、金属の種類によって反応性が異なることを理解させる。
- ・プラスチックをリサイクルする意味を考えさせる。
- ・物質が水に溶解するとき、物質の種類によって、また温度によって溶解度が異なることを理解させる。
- ・再結晶の原理を理解したうえで純粋な硝酸カリウムの結晶を生成する。

2 年間計画(単元名)

1 学期	単元3 身のまわりの現象
	・光の世界
	・音の世界
2 学期	・力の世界
	単元2 身のまわりの物質
	・身のまわりの物質とその性質
	・気体の性質
3 学期	・水溶液の性質
	・物質の姿と状態変化

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
教科書 新編 新しい科学 1	東京書籍

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	
その他	ノート提出
レポート	実験レポート

5 その他

--

年度 **2019**

授業担当者 **岡野(1, 2学期)奥野(2, 3学期)**

学年 **M1**

教科 **理科**

授業名 **理科2分野**

週 **2** 時間

1 授業内容と進み方

学校の周辺の植物を採取・観察し花の作り、根茎葉の作りとはたらき、分類について学ぶ。
 ウェゲナーの大陸移動説を導入としプレートテクトニクスの考え方を学び、火山活動、地震の発生メカニズムを理解する。
 その理論から、なぜ日本で火山、地震が多いか説明できるようにする。
 地層のでき方を理解し、地層・地形には、地球が出来た時からの今までの歴史が残されていることを学ぶ。
 地形・地層からどのような大地の変動があったのか説明できるようにする。

2 年間計画(単元名)

1 学期	単元1 植物の世界
	・はなのつくりとはたらき
	・根茎葉のつくりとはたらき
2 学期	・植物の分類
	単元4 大地の変化
	・火をふく大地
3 学期	・動き続ける大地
	・地層から読みとる大地の変化

3 教科書・副教材

教科書	副教材	教材名	出版社名
教科書 新編 新しい科学 1			東京書籍

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	
その他	ノート提出
レポート	実験レポート

5 その他

年度 2019

授業担当者 今多 学

学年 M2

教科 理科

授業名 理科1分野

週 2 時間

1 授業内容と進み方

教科書の内容にある、科学的知識を実験を通して学習する。
 元素記号を用いて、物質の化学式の書き方を学習し、
 更に化学式を用いて、化学反応式を書けるようにする。
 化学反応における量的な関係について、実験結果に基づき考える。
 グラフの基本的な書き方についても学習する。

2 年間計画(単元名)

1 学期	単元1 化学変化と原子・分子
	・物理的変化と化学的変化
	・種々の化学反応 熱分解、電気分解、化合、酸化還元
	・元素記号、化学式、化学式を用いた化学反応式、反応式の係数
2 学期	・化学変化と質量の関係
	単元1 化学変化と原子・分子
	・化学変化と質量の関係
	・化合する時の物質の割合
3 学期	※2学期途中に物理分野に移行する。

3 教科書・副教材

教科書・副教材	教材名	出版社名
教科書	新編 新しい科学 2	東京書籍

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	
その他	ノート提出
レポート	実験レポート

5 その他

年度 2019

授業担当者 奥野 卓也

学年 M2

教科 理科

授業名 理科2分野

週 2 時間

1 授業内容と進み方

画像・映像等の資料をみて、動物の分類と体の機能関係、生活と体のしくみについて学ぶ。
動物の進化の過程について脊椎動物を中心に学ぶ。
大気の流れと気圧と雲の発生を軸に天候について学ぶ。それを元に、日本の四季の典型的な天候について理解する。

2 年間計画(単元名)

1 学期	単元2 動物の生活と生物の変遷
	・動物の分類
	・生物の変遷と進化
	・動物のからだのつくりとはたらき(刺激と反応、神経、骨と筋肉)
2 学期	単元3 天気とその変化
	・気象観測と雲のでき方
	・前線とそのまわりの天気の変化
	・大気の流れと日本の天気
3 学期	単元2 動物の生活と生物の変遷
	・生物と細胞
	・動物のからだのつくりとはたらき(消化と吸収、呼吸、血液、排出)

3 教科書・副教材

教科書・副教材	教材名	出版社名
教科書 新編 新しい科学 2		東京書籍

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	
その他	ノート提出
レポート	実験レポート

5 その他

--

年度 **2019**

授業担当者 **金子 浩和**

学年 **M3**

教科 **理科**

授業名 **理科1**

週 **2** 時間

1 授業内容と進み方

私たちの身のまわりには、運動しているさまざまな物体がある。例えば、遊園地では回転する物、坂道を上ったり下ったりする物など、さまざまな運動が見られる。また、ウォーターライダーがみずをはね飛ばすように、他の物体に影響をあたえることもある。ここでは、運動する物体のもつ性質や、物体のもつエネルギーについて学んでいく。

世界とは何か。そして、私たちは世界の中のどこにいるのか。人類は古代からさまざまな考えをめぐらせてきた。多くの人々が長い時間をかけて研究を重ねてきた結果、私たちは頭上の空の先には広大な宇宙が広がっていることを知っている。では、その宇宙には、何があるのだろうか。宇宙の広がりやそこにある天体について調べ、私たちの住む地球と宇宙について学んでいく。

2 年間計画(単元名)

1 学期	単元3 運動とエネルギー
	第1章 物体のいろいろな運動
	第2章 力の規則性
	第3章 エネルギーと仕事
2 学期	単元 4 地球と宇宙
	第1章 宇宙の広がり
	第2章 地球の運動と天体の動き
	第3章 月と惑星の見え方
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
新編 新しい科学	東京書籍

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
その他	実験リポート

5 その他

年度 2019

授業担当者 Mr Okuno, Mrs Gerard, Mrs Imada

学年 M3

教科 理科

授業名 理科2

週 3 時間

1 授業内容と進み方

1学期ハーフタームまでは、教科書の内容に沿って授業を進める。1学期ハーフターム後からは EDEXCEL I.G.C.S.E. BIOLOGY のシラバスに従う。Mrs Gerardが作成したPower Pointのコピーを予習し、授業中は英語で内容を学んでいく。実験や観察、Activityを通して理解を深め、高校2年の5・6月に行われる試験に向けて、学習していく。

2 年間計画(単元名)

1 学 期	単元4 地球と宇宙 惑星
	単元5 地球と私たちの未来のために
	Characteristics of living organisms
	Variety of living organisms
2 学 期	Level of organisation / Cell structure
	Biological molecules
	Movement of substances into and out of cells
	Nutrition in human
3 学 期	Respiration
	Nutrition in plant
	Gas exchange in human
	Transport in human

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
新編 新しい科学 3	東京書籍
The Revision Guide IGCSE Biology for Edexcel (Grade 9-1)	CGP
Past papers of IGCSE Biology for Edexcel (on line)	Pearsons Edexcel

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
平常点	宿題の点数、宿題の提出期限、授業態度

5 その他

教科:理科は日本語で行われる理科1、理科2と英語で行われるBiologyで構成されます。日本語で行われる理科2がBiologyに移行する形です。1学期はこの3科目、2学期からは理科1とBiologyの2科目で構成されます。

年度 2019

授業担当者 今多 学

学年 H1

教科 理科

授業名 化学基礎

週 2 時間

1 授業内容と進み方

基本的な化学的知識を、授業でまとめるように学習する。
その理解を深める為、演示実験、生徒による実験をおこなう。
物質質量や中和など計算が必要な分野においては、
小テストを行い、知識の定着を図る。
3学期の最後には、食酢の分析実験を行い、レポートの書き方や
有効数字の扱いについても学習する。

2 年間計画(単元名)

1 学期	第1編 物質の構成 1章 物質の探究
	・純物質と混合物 混合物の分離方法とその原理
	・化合物と元素 元素の確認方法 (炎色反応と沈殿の生成)
2 学期	2章 原子の構造と元素の周期表 3章 化学結合
	・原子の構造 ・周期表と元素の性質 ・イオン結合と共有結合
	3章 化学結合
3 学期	・配位結合 ・金属結合 ・物質間の結合(分子間力、水素結合) ・化学結合と結晶の性質
	第2編 物質の変化 1章 物質質量と化学反応式
	・物質質量と化学反応式 ・化学反応式と量的関係
3 学期	2章 酸と塩基
	・酸塩基の定義 ・水素イオン濃度とpH
	・中和反応と塩の生成 ・塩の性質
3 学期	・中和滴定 中和滴定実験による食酢中の酢酸の

3 教科書・副教材

教科書・副教材	教材名	出版社名
教科書	化学基礎	東京書籍
問題集	New Global 化学基礎	東京書籍

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	
レポート	

5 その他

--

年度 **2019**

授業担当者 **Mrs Gerard, Mrs Imada, Mr Okuno**

学年 **H1**

教科 **理科**

授業名 **BIOLOGY**

週 **3** 時間

1 授業内容と進み方

授業の内容は、EDEXCEL I.G.C.S.E. BIOLOGY のシラバスに従う。Mrs Gerardが作成したPower Pointのコピーを予習し、授業中は英語で内容を学んでいく。他に実験や観察、Activityを通して理解を深め、高校2年の5・6月に行われる試験に向けて、学習していく。

2 年間計画(単元名)

1 学期	Transport in plant
	Reproduction in plant
	Response in Plant
	Excretion, Homeostasis
	Co-ordination and response
2 学期	Inheritance
	Reproduction in Human and Cell Division
	Natural Selection
	Feeding relationships
	Cycles within ecosystems
3 学期	Genetic modification (genetic engineering)
	Selective Breeding, Cloning
	Human influences on the environment
	Crop Plant, Micro-organism
	Fish Farming, Ecology, Pollution, Sewage

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
The Revision Guide IGCSE Biology for Edexcel (Grade 9-1)	CGP
Past papers of IGCSE Biology for Edexcel (on line)	Pearsons Edexcel

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
平常点	宿題の点数、宿題の提出期限、授業態度
実力テスト	2, 3学期のみ

5 その他

--

年度 **2019**

授業担当者 **金子 浩和**

学年 **H2**

教科 **理科**

授業名 **物理**

週 **3** 時間
1学期ハーフターム後 5時間

1 授業内容と進み方

物体の運動を考え、運動方程式が理解し、運動方程式の運用が正しくできるか？
 摩擦力、浮力がある場合にも運動方程式がたてられるか？
 力学的エネルギーの変化を理解できるのか？
 波、音、光について、ドップラー効果を理解できるか？光の干渉の理由を説明できるか？
 電場、磁場の考え方を理解し、直流回路、ローレンツ力、誘導起電力、共振回路等を学んでいく。

出来るだけ、実験を重視し、実験結果をまとめ、提出させる。グラフから傾きを求めたり、%誤差を求めさせたりして、何故、誤差が生じるかを考え、誤差を少なくしていく方法を学んでいく。

2 年間計画(単元名)

1 学期	力と運動
	運動の表し方 速度、加速度、落体の運動
	運動の法則 力とそのはたらき、力のつりあい、運動の法則、摩擦を受ける運動
	液体や気体から受ける力、剛体はたらく力のつりあい
2 学期	仕事と力学的エネルギー 仕事、運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギー
	波の性質 波と媒体の性質、波の伝わり方
	音 音の性質、発音体の振動と共振・共鳴、音のドップラー効果
	光 光の性質、レンズ、光の干渉と回折
3 学期	電場 静電気力、電場、電位、物質と電場、コンデンサー
	電流 オームの法則、直流回路、半導体
	電流と磁場 磁場、電流のつくる磁場、電流から受ける力、ローレンツ力
	電磁誘導と電磁波 電磁誘導の法則、交流の発生、自己誘導と相互誘導、交流回路、電磁波

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
改訂版 総合物理1 力と運動・熱	数研出版
改訂版 総合物理2 波・電気と磁気・原子	数研出版
三訂版 リードα 物理基礎・物理	数研出版

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
その他	実験レポート
実力テスト	

5 その他

年度 2019

授業担当者 岡野 透

学年 H2

教科 理科

授業名 理系化学

週 4 時間

1 授業内容と進み方

教科書に沿って授業を進める。宿題・観察・実験を通し、化学への理解を深める。

2 年間計画(単元名)

1 学期	酸化還元反応
	イオン化傾向
	電池
	電気分解
2 学期	気体
	熱化学
3 学期	無機化学

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
改訂 化学基礎	東京出版
リードα 化学	教研出版

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
平常点	宿題プリント、提出物

5 その他

年度 2019

授業担当者 岡野 透

学年 H2

教科 理科

授業名 文系化学

週 1 時間

1 授業内容と進み方

教科書に沿って授業を進める。宿題・観察・実験を通し、化学への理解を深める。

2 年間計画(単元名)

1 学期	酸化還元反応
2 学期	イオン化傾向
	電池
3 学期	電気分解

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
改訂 化学基礎	東京出版

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
平常点	宿題プリント、提出物、実験レポート

5 その他

年度 2019

授業担当者 今多 美奈子

学年 H2

教科 理科

授業名 理系生物

週 3 時間

1 授業内容と進み方

教科書の内容に沿って授業を進める。宿題や、授業内に自ら考えて問題を解くことを通し、内容理解に努める。また、観察・実験を行い理解を深めるとともに、レポートにまとめることで、内容を整理する。

2 年間計画(単元名)

1 学期	生体物質と細胞
	タンパク質の構造と酵素
	細胞間の相互作用とタンパク質
	代謝とエネルギー
2 学期	DNAの構造と複製
	遺伝情報の発現
	遺伝子の発現調節
	バイオテクノロジー
	生物の有性生殖・動物の発生
3 学期	動物の発生のしくみ
	植物の発生
	動物の刺激の受容と反応

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
改訂 生物	東京書籍
ニューステージ 新生物図表	浜島書店
五訂版 リードα 生物基礎＋生物	数研出版

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
実力テスト	
平常点	宿題プリント、提出物、授業内に行った問題

5 その他

・1学期ハーフターム後まで週1時間、ハーフターム後から週3時間
し、理系文系両方の内容を期末試験(120分)に出題する

・H2文系生物も受講

年度 2019

授業担当者 今多 美奈子

学年 H2

教科 理科

授業名 文系生物

週 2 時間

1 授業内容と進み方

教科書に沿って授業を進める。宿題・観察・実験を通し、理解を深める。

2 年間計画(単元名)

1 学期	生物の多様性と共通性
	生命活動とエネルギー
	生物と遺伝子
	遺伝情報の分配
2 学期	遺伝情報とタンパク質の合成
	体内環境
	免疫
3 学期	体内環境を維持するしくみ

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
改訂 生物基礎	東京出版
ニューステージ 新生物図表	浜島書店
五訂版 リードα 生物基礎	数研出版

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
平常点	宿題プリント、提出物

5 その他

H2 理系生物選択者も受講しています

年度 **2019**

授業担当者 **奥野 卓也**

学年 **H3**

教科 **理科**

授業名 **物理**

週 **4** 時間

1 授業内容と進み方

円運動の向心力と慣性力としての遠心力、ばね振り子や単振り子の周期、「静止衛星」、「第一宇宙速度」、「第二宇宙速度」。
電場、磁場、ローレンツ力、誘導起電力、交流、共振回。
ボイル・シャルルの法則、状態変化後の気体の圧力、体積、絶対温度。
気体分子の熱運動と気体の圧力。気体分子の平均運動エネルギーと絶対温度、気体の状態変化の、「定積変化」、「定圧変化」、「等温変化」、「断熱変化」とp-V図。
光の粒子性と電子の波動性。電子の比電荷と電気素量、電子の質量。「電子ボルト」。
原子のスペクトルとエネルギー準位。放射線による影響と放射線の利用。核分裂反応・核融合反応。素粒子。
できるだけ実験室にある身近なもので減少を観察、その理屈や法則を理解しながら進めていく。

2 年間計画(単元名)

1 学期	等速円運動
	万有引力
	単振動
	電流と地場:磁場、電流のつくる磁場、電流から受ける力、ローレンツ力
	電磁誘導と電磁波:電磁誘導の法則、交流の発生、自己誘導と相互誘導、交流回路、電磁
2 学期	熱と物質:熱と熱量、熱と物質の状態、熱と仕事
	気体のエネルギーと状態変化
	電子と光
	原子と原子核
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
改訂版 総合物理1 力と運動・熱	数研出版
改訂版 総合物理2 波・電気と磁気・原子	数研出版
三訂版 リードα 物理基礎・物理	数研出版

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
その他	実験レポート
実力テスト	

5 その他

年度 2019

授業担当者 今多 学

学年 H3

教科 理科

授業名 理系化学

週 4 時間

1 授業内容と進み方

- ・高分子を含む有機化合物の性質や特徴を項目ごとに学習する。
必要に応じて実験を行い、有機化学の実験の基礎を学ぶ。
- 週に4枚～5枚の演習プリント(入試問題から出題)の提出を求め、
知識を深める。
- ・平衡と反応速度についても同様。反応速度においては、グラフによる分析を行う。

2 年間計画(単元名)

1 学期	有機化学
	・脂肪族有機化合物(炭化水素、酸素を含む有機化合物)の性質
	・芳香族有機化合物の性質
	・元素分析と有機化合物の構造決定
2 学期	・有機化合物の分離
	有機高分子化合物 無機高分子化合物
	・天然高分子化合物(油脂、糖類、アミノ酸・タンパク質)
	・合成高分子化合物(付加重合、縮合重合、共重合)
3 学期	・無機物質の高分子化合物
	平衡と反応速度

3 教科書・副教材

教科書		教材名	出版社名
教科書	化学		東京書籍
問題集	リードα 化学基礎+化学(五訂版)		数研出版

4 評価方法

方法	備考
実力テスト	
期末試験	
小テスト	
その他	演習プリントの提出

5 その他

年度 2019

授業担当者 今多 学

学年 H3

教科 理科

授業名 文系化学(化学基礎)

週 2 時間

1 授業内容と進み方

センター試験の化学基礎対策。
週に1度過去の問題もしくは模擬試験の問題を解き、その問題の解説、
基礎事項の確認を行う。
また、化学基礎の分野、又は化学の分野の実験を行う。

2 年間計画(単元名)

1 学期	・結合についての復習	・物質について復習
	・混合物の分離についてのまとめと実験	・同素体についての実験
	・電気分解、反応性についての実験	・酸塩基中和についての復習
	・過去問題を含む問題演習	
2 学期	・酸化還元に関する実験	・高分子に関する実験
	・有機化合物に関する実験	・反応速度に関する実験
	・過去問題を含む問題演習	
3 学期		

3 教科書・副教材

教材名	出版社名

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
平常点	

5 その他

年度 2019

授業担当者 今多 美奈子

学年 H3

教科 理科

授業名 理系生物

週 4 時間

1 授業内容と進み方

教科書の内容に沿って授業を進める。宿題や、授業内に自ら考えて問題を解くことを通し、内容理解に努める。また、観察・実験を行い理解を深めるとともに、レポートにまとめることで、内容を整理する。2学期後半には教科書の内容を終わらせ、演習と各種の実験にトライする時間とする。

2 年間計画(単元名)

1 学期	植物の発生
	生物の環境応答
	生態と環境
2 学期	生物の進化と系統
	入試対策演習
	実験
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
改訂 生物	東京書籍
ニューステージ 新生物図表	浜島書店
五訂版 リードα 生物基礎＋生物	数研出版
全国大学入試問題正解 生物	旺文社

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
実力テスト	
中間試験	2学期のみー教科書の内容終了時に行う
平常点	宿題プリント、授業内に行った問題、提出物

5 その他

年度 2019

授業担当者 今多 美奈子

学年 H3

教科 理科

授業名 文系生物

週 2 時間

1 授業内容と進み方

教科書に沿って授業を進める。宿題・観察・実験を通し、各自考えることで理解を深める。1学期後半からはセンター入試を目標に演習を重ねる。やりたい実験や、調べたいことを考え、実験を計画し、実行していくことも考えている。

2 年間計画(単元名)

1 学期	植生の多様性と遷移
	バイオームとその分布
	生態系とその保全
	センター入試対策演習
2 学期	センター入試対策演習
	観察・実験
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
改訂 生物基礎	東京書籍
ニューステージ 新生物図表	浜島書店
四訂版 リードα 生物基礎	数研出版
2020マーク式総合問題集 生物基礎	河合出版
2020年用センター試験 実践模試 生物基礎	Z会

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
平常点	宿題プリント、提出物

5 その他

年度 2019

授業担当者 高橋通夫・荒木美佳

学年 P5-M3

教科 保健・体育

授業名 体育

週 1 時間

1 授業内容と進み方

個人スポーツの陸上競技をおこなう。短距離走では、正しいクラウチングスタートを知り、身につける。投てき競技では、フォームを学び、器具を使用した投てきをおこなう。長距離走では、自分に合ったペースを見つけ、最後まで走り通す。

2 年間計画(単元名)

1 学期	陸上競技(短距離走)
	50M, 100M, 200M
2 学期	陸上競技(投てき競技)
	砲丸投, 円盤投, やり投
3 学期	陸上競技(長距離走)
	1500M
	水泳 (※小学部)

3 教科書・副教材

教材名	出版社名

4 評価方法

方法	備考
その他	記録計測
平常点	授業態度

5 その他

小学部(P5・6)は、3学期は水泳をおこないません。小学部(P5・6)の体育は、陸上競技1時間、球技1時間で構成されています。学期末の成績は、陸上競技と球技を合算して出します。

年度 2019

授業担当者 高橋通夫・荒木美佳

学年 M1・2

教科 保健・体育

授業名 保健体育

週 1 時間

1 授業内容と進み方

体育の授業では、対人スポーツの運動と身体操作系運動をおこなう。器械体操は新しい技のポイントを理解すること、テニスは状況に応じたボール操作ができるようにすることを目指す。また、安全な運動のおこない方を身につける。保健の授業では、傷害の防止の単元を中心におこなう。

2 年間計画(単元名)

1 学期	【体育】
	テニス
	【保健】
	傷害の原因と防止, きずの手当て
2 学期	【体育】
	スポーツテスト
	器械体操(跳び箱)
	【保健】
3 学期	応急手当の意義と基本, 交通事故の現状と原因, 交通事故の防止
	【体育】
	器械体操(マット運動)
	【保健】
	犯罪被害の防止, 自然災害に備えて

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
新・中学保健体育	学研

4 評価方法

方法	備考
小テスト	【保健】まとめテスト
その他	【保健】提出物
その他	【体育】実技試験
平常点	授業態度

5 その他

体育と保健の授業を隔週でおこなう。

年度 **2019**

授業担当者 **高橋通夫・佐藤智花**

学年 **M3**

教科 **保健・体育**

授業名 **保健体育**

週 **1** 時間

1 授業内容と進み方

体育の授業では、対人スポーツの運動と身体操作系運動をおこなう。自身の課題を見つけ、それに適した練習を工夫しておこなうようにする。保健の授業では、健康な生活と病気の予防の単元を中心におこなう。

2 年間計画(単元名)

1 学期	【体育】
	テニス
	【保健】
	飲酒と健康, 歯の健康
2 学期	【体育】
	スポーツテスト
	器械体操(跳び箱)
	【保健】
3 学期	喫煙と健康, 薬物乱用と健康, 保健・医療機関の利用, 医薬品の有効利用
	【体育】
	器械体操(マット運動)
	【保健】
	感染症とその予防, 性感染症とその予防/エイズ

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
新・中学保健体育	学研

4 評価方法

方法	備考
その他	【保健】提出物
その他	【体育】実技試験
平常点	授業態度

5 その他

体育と保健の授業を隔週でおこなう。

年度 2019

授業担当者 高橋通夫・荒木美佳

学年 M1・2・3

教科 保健・体育

授業名 体育

週 1 時間

1 授業内容と進み方

団体スポーツの球技をおこなう。基本的なルールを理解し、安全に注意しながらおこなう。基本動作を習得し、ポジションに応じた動きができるようにすることを目標とする。運動を通して、知識・技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにする。

2 年間計画(単元名)

1 学期	(男子)
	バレーボール
	(女子)
	ポートボール, ネットボール
2 学期	(男子)
	サッカー
	(女子)
	バレーボール
3 学期	(男子)
	バスケットボール
	(女子)
	バスケットボール

3 教科書・副教材

教材名	出版社名

4 評価方法

方法	備考
その他	実技テスト
平常点	授業態度

5 その他

男女別でおこなう。

年度 2019

授業担当者 高橋通夫・荒木美佳

学年 H1

教科 保健・体育

授業名 体育

週 1 時間

1 授業内容と進み方

個人スポーツの陸上競技をおこなう。短距離走では、スターティングブロックを使用したスタートを身につける。投てき競技では、投てきフォームの理解を目標とする。長距離走では、自分に適したペースを自らつくる工夫をする。

2 年間計画(単元名)

1 学期	陸上競技(短距離走)
	50M, 100M, 200M
2 学期	陸上競技(投てき競技)
	砲丸投, 円盤投, やり投
3 学期	陸上競技(長距離走)
	1500M

3 教科書・副教材

教材名	出版社名

4 評価方法

方法	備考
その他	記録計測
平常点	授業態度

5 その他

年度 2019

授業担当者 高橋通夫・荒木美佳

学年 H1

教科 保健・体育

授業名 体育

週 1 時間

1 授業内容と進み方

団体スポーツの球技をおこなう。基本的なルールを理解し、安全に注意しながらおこなう。チームで助言し合いながら工夫して練習をし、チームで作戦を立ててゲームをおこなえるようにすることを目指す。

2 年間計画(単元名)

1 学期	(男子)
	バレーボール
	(女子)
	ソフトボール
2 学期	(男子)
	サッカー
	(女子)
	バレーボール, バスケットボール
3 学期	(男子)
	バスケットボール
	(女子)
	バスケットボール, サッカー

3 教科書・副教材

教材名	出版社名

4 評価方法

方法	備考
その他	実技テスト
平常点	授業態度

5 その他

男女別でおこなう。

年度 2019

授業担当者 荒木 美佳

学年 H1

教科 保健・体育

授業名 保健体育

週 1 時間

1 授業内容と進み方

体育の授業では、対人スポーツの運動と身体操作系運動をおこなう。ダンスの授業では、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化をつけた作品を創作することをねらいとする。保健の授業では、現代社会と健康の単元を中心におこなう。日本の疾病構造を理解するとともに、社会の変化に応じて健康を保持増進していくための正しい知識を身につけることを目標とする。

2 年間計画(単元名)

1 学期	【体育】
	テニス
	【保健】
	骨格系の名称, 健康の考え方と成り立ち, 私たちの健康のすがた, 健康に関する意志決定・行動選択と環境づくり, 生活習慣病の予防, 運動と健康
2 学期	【体育】
	スポーツテスト, ダンス
	【保健】
	筋肉系の名称, 食事と健康, 休養と健康, 喫煙と健康, 飲酒と健康, 薬物乱用と健康
3 学期	【体育】
	ダンス
	【保健】
	感染症と予防, 性感染症・エイズとその予防, 欲求と適応機制

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
最新高等保健体育	大修館書店

4 評価方法

方法	備考
小テスト	【保健】まとめテスト
その他	【保健】提出物
その他	【体育】実技試験
平常点	授業態度

5 その他

体育と保健を隔週でおこなう。

年度 **2019**

授業担当者 **高橋通夫・荒木美佳**

学年 **H2**

教科 **保健・体育**

授業名 **体育**

週 **1** 時間

1 授業内容と進み方

個人スポーツの陸上競技をおこなう。短距離走では、スタート、中間疾走、フィニッシュのフォームや動きを合理的におこない、記録の向上を目指す。投てき競技では、フォームや身体の動かし方を意識した投てきをおこなうことを目標とする。長距離走では、目標を上げながら安定したペースで走り通す。

2 年間計画(単元名)

1 学期	陸上競技(短距離走)
	50M, 100M, 200M
2 学期	陸上競技(投てき競技)
	砲丸投, 円盤投, やり投
3 学期	陸上競技(長距離走)
	1500M

3 教科書・副教材

教材名	出版社名

4 評価方法

方法	備考
その他	記録計測
平常点	授業態度

5 その他

--

年度 2019

授業担当者 高橋通夫・荒木美佳

学年 H2

教科 保健・体育

授業名 体育

週 1 時間

1 授業内容と進み方

団体スポーツの球技をおこなう。基本的なルールを理解し、安全に注意しながらおこなう。チームや個人の課題にあった練習方法を見つけ、協力して課題に取り組めるようにする。ゲームは、チームの特徴に応じた作戦を立てておこなうことを目標とする。

2 年間計画(単元名)

1 学期	(男子)
	バレーボール
	(女子)
	ソフトボール
2 学期	(男子)
	サッカー
	(女子)
	バレーボール, タグラグビー
3 学期	(男子)
	バスケットボール
	(女子)
	バスケットボール, サッカー

3 教科書・副教材

教材名	出版社名

4 評価方法

方法	備考
その他	実技テスト
平常点	授業態度

5 その他

男女別でおこなう。

年度 **2019**

授業担当者 **荒木 美佳**

学年 **H2**

教科 **保健・体育**

授業名 **保健体育**

週 **1** 時間

1 授業内容と進み方

体育の授業では、対人スポーツの運動と身体操作系運動をおこなう。ダンスの授業では、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化をつけた作品を創作することをねらいとする。保健の授業では、現代社会と健康の単元を中心におこなう。日本の疾病構造を理解するとともに、社会の変化に応じて健康を保持増進していくための正しい知識を身につけることを目標とする。

2 年間計画(単元名)

1 学期	【体育】
	テニス
	【保健】
	骨格系の名称, 健康の考え方と成り立ち, 私たちの健康のすがた, 健康に関する意志決定・行動選択と環境づくり, 生活習慣病の予防, 運動と健康
2 学期	【体育】
	スポーツテスト, ダンス
	【保健】
	筋肉系の名称, 食事と健康, 休養と健康, 喫煙と健康, 飲酒と健康, 薬物乱用と健康
3 学期	【体育】
	ダンス
	【保健】
	感染症と予防, 性感染症・エイズとその予防, 欲求と適応機制

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
最新高等保健体育	大修館書店

4 評価方法

方法	備考
小テスト	【保健】まとめテスト
その他	【保健】提出物
その他	【体育】実技試験
平常点	授業態度

5 その他

体育と保健を隔週でおこなう。

年度 2019

授業担当者 高橋通夫・荒木美佳

学年 H3

教科 保健・体育

授業名 体育

週 1 時間

1 授業内容と進み方

個人スポーツの陸上競技をおこなう。各種目で自己最高記録を更新することを目標とする。

2 年間計画(単元名)

1 学期	陸上競技(短距離走)
	50M, 100M, 200M
2 学期	陸上競技(投てき競技)
	砲丸投, 円盤投, やり投
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名

4 評価方法

方法	備考
その他	記録計測
平常点	授業態度

5 その他

年度 2019

授業担当者 高橋通夫・荒木美佳

学年 H3

教科 保健・体育

授業名 体育

週 1 時間

1 授業内容と進み方

団体スポーツの球技をおこなう。基本的なルールを理解し、安全に注意しながらおこなう。チームで協力し合って効率的な練習をおこなう。作戦に応じたボール操作で仲間と連携したゲームが展開できるようにする。

2 年間計画(単元名)

1 学期	(男子)
	バレーボール
	(女子)
	ソフトボール
2 学期	(男子)
	サッカー
	(女子)
	タグラグビー、バドミントン
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名

4 評価方法

方法	備考
その他	実技テスト
平常点	授業態度

5 その他

男女別でおこなう。

年度 **2019**

授業担当者 **高橋通夫・荒木美佳**

学年 **H3**

教科 **保健・体育**

授業名 **体育**

週 **1** 時間

1 授業内容と進み方

男女合同で球技3種目のリーグ戦をおこなう。勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携したゲームを展開しながら主体的におこなえるようにする。フェアプレイを大切にし、話し合いに貢献するなどの意欲を持ち、健康や安全を確保して取り組むことを目標とする。

2 年間計画(単元名)

1 学期	リーグ戦
	バスケットボール, バレーボール, サッカー
2 学期	リーグ戦
	バスケットボール, バレーボール, サッカー
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名

4 評価方法

方法	備考
その他	試合での貢献度
平常点	授業態度

5 その他

年度 2019

授業担当者 高橋通夫

学年 M1

教科 技術・家庭

授業名 技術

週 1 時間

1 授業内容と進み方

各学期ごとに、課題を与えて、学期内に完成させることを目標とする。

2 年間計画(単元名)

1 学期	木工用の道具の使い方
	丸太を加工して机上で使えるものを作る
2 学期	輪ゴム1つを使ってピンポン球を飛ばす機械を作る
3 学期	紙飛行機
	竹とんぼ
	熱気球

3 教科書・副教材

教材名	出版社名

4 評価方法

方法	備考
平常点	
その他	

5 その他

年度 2019

授業担当者 高橋通夫

学年 M2

教科 技術・家庭

授業名 技術

週 1 時間

1 授業内容と進み方

各学期ごとに、課題を与えて、学期内に完成させることを目標とする。

2 年間計画(単元名)

1 学期	パズル作り ペントミノパズルの用紙を板に張り付け、切り抜く。
	パズルをのせる板のケースを作る
2 学期	プロペラの風力で走る車を作る。
	車体、タイヤ等全て手作り。
3 学期	卵を20センチ動かす機械作り。
	2本の注射器をホースでつなぎ、注射器の動きによって、卵を動かす。

3 教科書・副教材

教材名	出版社名

4 評価方法

方法	備考
平常点	
その他	

5 その他

年度 2019

授業担当者 高橋通夫

学年 M3

教科 技術・家庭

授業名 技術

週 1 時間

1 授業内容と進み方

各学期ごとに、課題を与えて、学期内に完成させることを目標とする。

2 年間計画(単元名)

1 学 期	ピストンを使って動くものを作る。
	偶然に動くのではなく、確実に動くこと。
2 学 期	卵をのせると動く車を作る。
	ギア、滑車、タイヤの組み合わせを考え、より長い距離を走る車を作る。
3 学 期	からくりボックス(オートマタ)の作成
	ボックスの上で動くものを考え、その動くに合わせて、横棒を考える。

3 教科書・副教材

教材名	出版社名

4 評価方法

方法	備考
平常点	
その他	

5 その他

年度 2019

授業担当者 小林 誠

学年 M1

教科 英語

授業名 英語

週 4 時間

1 授業内容と進み方

教科書に沿って文法中心の解説をしつつ、口頭パターンプラクティスを通して知識を定着させ、さらにFieldworkで実際に覚えた英語を実践的に使ってフィードバックをさせる。

2 年間計画(単元名)

1 学期	Unit 1 & 2 Be動詞
	Unit 3 一般動詞
	Unit 4 複数形
	(Unit 5 疑問詞 What と補語としての形容詞)
2 学期	Unit 5 疑問詞 What と補語としての形容詞
	Unit 6 三単現
	Unit 7 いろいろな疑問詞
	Unit 8 いろいろな疑問詞2 人称代名詞
	Unit 9 現在進行形
3 学期	Unit 10 助動詞
	Unit 11 過去形
	Let's Read The Restaurant with Many Orders (読解)

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
New Horizon English Course 1	東京書籍

4 評価方法

方法	備考
期末試験	教科書内容のテストを100点分、単語テストを別に100点分実施
レポート	単元ごとに文法事項の繰り返し・創造的練習をノートに書かせる
小テスト	文法のまとまりごとに不定期に実施

5 その他

1学期は2時間続きのフィールドワーク実施のため週5時間、2学期は教科書中心の学習で週3時間、3学期はフィールドワークを若干入れながら週4時間の授業となる(平均週4時間)

年度 2019

授業担当者 関口 萌

学年 M2

教科 英語

授業名 英語

週 4 時間

1 授業内容と進み方

第1学期の月曜日は隔週でfieldworkに行き、インタビューを行う。また聞いてきたことをクラスに向けて発表する。教科書を基本としながら、文法事項が定着するように、問題集を用いた演習も行う。インタビューしてきた内容や、アウトティングなどの体験を、英語で伝えられるようにまとめた英文を書く練習をし、大勢の前でも堂々と発表できるプレゼンテーション能力を身につけることを目標とする。

2 年間計画(単元名)

1 学期	Unit 0: My Spring Vacation
	Unit 1: A friend in a Sister School
	Unit 2: A Trip to the U.K.
	Unit 3: Career Day
	Presentation 1: 将来の夢
2 学期	Unit 4: Homestay in the United States
	Unit 5: Universal Design
	Unit 6: Rakugo in English
	Presentation 2: 町紹介
3 学期	Unit 7: The movie Dolphin Tale
	Presentation 3: 好きなこと・もの

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
New Horizon English Course 2	東京書籍

4 評価方法

方法	備考
レポート	フィールドワークのレポート
作文	英作文
期末試験	
平常点	授業態度、提出物

5 その他

--

年度 2019

授業担当者 倉品 衛

学年 M3

教科 英語

授業名 英語

週 4 時間

1 授業内容と進み方

文法事項を説明した後、問題プリントを使用して反復練習を行う。単元毎に確認テストを実施する。教科書の内容はタスク用のプリントを使用しながら進める。

2 年間計画(単元名)

1 学期	Unit 1 受動態
	Unit 2 & 3 現在完了
	Unit 4 不定詞
2 学期	Unit 5 現在分詞、過去分詞
	Unit 6 関係代名詞
3 学期	Let's Read 2
	Let's Read 3

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
New Horizon English Course 3	東京書籍
(文法問題)	
(長文読解問題)	

4 評価方法

方法	備考
期末試験	教科書内容のテストを100点分、単語テストを別に100点分実施
小テスト	文法の単元毎に実施
レポート	各UnitのTaskを提出

5 その他

教科書の単元の他に、2学期は長文読解、3学期は長文読解、テーマを設けた英作文を行う。

年度 2019

授業担当者 田中(谷岡)裕紀

学年 M3・H1

教科 英語

授業名 英語(選抜・帰国子女)クラス

週 3 時間

1 授業内容と進み方

実践的な英語力を身につけるために、文部科学省指定の教科書を使用せず、さまざまな教材を用いて多読、精読を中心とした授業を展開する。また英語における4技能(Listening, Speaking, Reading and Writing)の向上を目指す。特に帰国子女が比較的苦手としている文法力の定着を図るため、授業内での文法演習と週ごとのwriting taskを通して、確かな英語運用能力を習得する。資格試験、受験対策のために読解はIELTS、大学入試過去問題の演習を行う。

2 年間計画(単元名)

1 学期	文型
	文の種類
	基本時制・完了時制
	助動詞
2 学期	不定詞
	動名詞
	分詞
	仮定法
3 学期	比較
	否定
	代名詞
	関係詞

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
Cambridge IELTS Academic Student's Book(Cambridge University Press)	Cambridge University Press
英語標準問題精講	旺文社
スクランブル英文法・語法 3rd Edition	旺文社
全国大学入試問題正解	旺文社

4 評価方法

方法	備考
期末試験	他クラスとは違う期末試験を受ける
レポート	週ごとのwriting assignment
平常点	授業ごとの宿題

5 その他

授業の進捗状況によって、内容・進度を変更する可能性があります。

年度 **2019**

授業担当者 **山根秀雄・小林誠・関口萌**

学年 **H1**

教科 **英語**

授業名 **英語**

週 **3** 時間

1 授業内容と進み方

文法的な理解を中心に授業を進める。文法については学期に2～3の単元を集中的に解説、問題演習を通して定着を図る。読解については主に毎週課すタスクで単語調べ、内容把握、発展学習をさせ、授業では文法を中心に解説をし、読解力の向上を目指す。

2 年間計画(単元名)

1 学期	文型
	文の種類
	基本時制・完了時制
	Lesson 1 When Words Won't Work (Lesson 2 Going into Space)
2 学期	助動詞
	受動態
	不定詞
	Lesson 5 Food Bank (Lesson 6 Roots & Shoots)
3 学期	動名詞
	分詞
	Lesson 8 Not So Long Ago (Lesson 9 Crossing the "Uncanny Valley")

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
Crown English Communication I (New Edition)	三省堂
高校リード問題集(英文法A)	(非売品)

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
レポート	毎週タスクを課してこれを平常点とする。
小テスト	グレードに応じて適宜実施

5 その他

H1英語は
Superクラスは別教材を使用して実施、それ以外の生徒を上中下の3クラスに分けている。期末テストはSuperは別問題、上中下クラスは同一問題。

年度 2019

授業担当者 田中(谷岡)裕紀

学年 H2

教科 英語

授業名 英語(選抜クラス)

週 3 時間

1 授業内容と進み方

実践的な英語力を身につけるために、文部科学省指定の教科書を使用せず、さまざまな教材を用いて多読、精読を中心とした授業を展開する。また英語における4技能(Listening, Speaking, Reading and Writing)の向上を目指す。特に帰国子女が比較的苦手としている文法力の定着を図るため、授業内での文法演習と週ごとのassignmentを通して、確かな英語運用能力を習得する。資格試験、受験対策のために読解はIELTS、大学入試過去問題の演習を行う。

2 年間計画(単元名)

1 学期	分詞構文
	関係代名詞
	関係副詞
	複合関係詞
	動詞の語法
2 学期	接続詞
	比較
	仮定法
	否定
	代名詞
3 学期	話法の転換
	強調・倒置・省略・代用
	動詞・副詞・形容詞の語法

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
Cambridge IELTS Academic Student's Book	Cambridge University Press
英語標準問題精講	旺文社
スクランブル英文法・語法 3rd Edition	旺文社
全国大学入試問題正解	旺文社

4 評価方法

方法	備考
期末試験	同学年の他クラスとは違う期末試験を受ける
レポート	週ごとのassignment
平常点	授業ごとの宿題

5 その他

授業の進捗状況によって、内容・進度を変更する可能性があります。

年度 **2019**

授業担当者 **倉品衛・小林誠**

学年 **H2**

教科 **英語**

授業名 **英語**

週 **3** 時間

1 授業内容と進み方

文法的な理解を中心に授業を進める。文法については学期に2～3の単元を集中的に解説、問題演習を通して定着を図る。読解については主に毎週課すタスクで単語調べ、内容把握、発展学習をさせ、授業では文法を中心に解説をし、読解力の向上を目指す。

2 年間計画(単元名)

1 学期	分詞構文
	関係代名詞
	関係副詞
	Lesson 1 Around the World on a Bike (Lesson 2 Into Unknown Territory)
2 学期	複合関係詞
	接続詞
	比較
	Lesson 5 Saving Cherokee (Lesson 6 Ashura)
3 学期	仮定法
	話法の転換
	Lesson 8 Working against the Clock (Lesson 9 The Long Voyage Home)

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
Crown English Communication II (New Edition)	三省堂
高校リード問題集(英文法A)	(非売品)

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
レポート	毎週タスクを課してこれを平常点とする。
小テスト	グレードに応じて適宜実施

5 その他

H2英語は
Superクラスは別教材を使用して実施、それ以外の生徒を上下の2クラスに分けている。期末テストはSuperは別問題、上下クラスは同一問題。

年度 2019

授業担当者 山根秀雄

学年 H3

教科 英語

授業名 英語(Higher)

週 3 時間

1 授業内容と進み方

[入試問題]
最初、難解な語句の意味が分からなくても辞書を使わず、前後関係から意味を類推することで問いに答える。問題を解いた後は必要に応じて、品詞の違いを意識させ、文構造を分析する。(必要に応じて辞書を参照)
文法・構文・文脈をチェックし対応関係をおさえることで、問いに対する正しい答えを見つける練習をする。なお、全体の内容理解として、それぞれの文や段落の関係を押さえ、適宜 筆者が強調している部分を確認する。

[ディベート]
形式の理解後、英語圏での模範ディベートのビデオを見て基本パターンを覚える。生徒に関心のあるテーマで実際に行う。

2 年間計画(単元名)

1 学期	基本的には、大学入試問題を教材の中心とする。
	4技能を使うアクティブラーニングとして、ディベートを練習する。
2 学期	基本的には、大学入試問題を教材の中心とする。
	4技能を使うアクティブラーニングとして、ディベートを練習する。
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
大学入試過去問題	
自作教材	

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	各問題ごとに、確認テストを実施する。
平常点	授業への取り組み、意欲、質問に対する受け答え
実力テスト	

5 その他

年度 2019

授業担当者 関口 萌

学年 H3

教科 英語

授業名 英語 (Intermediate)

週 3 時間

1 授業内容と進み方

大学入試過去問題 読解／整序／文法 センター試験レベルの問題 IELTS
読解問題に関しては、時間を設定し、問題を解かせた後、解説を行う。
整序問題、文法問題に関しては、問題を解かせた後、解説及び確認テストを行う。
センター試験に関しては、時間を設定し、問題を解かせた後、解説を行う。
IELTSの問題形式を説明し、いくつか実際の問題にも取り組み、解説を行う。

2 年間計画(単元名)

1 学期	大学入試過去問題
	IELTS
2 学期	大学入試過去問題
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
大学入試過去問題集	
IELTS TRAINER	Cambridge University Press

4 評価方法

方法	備考
実力テスト	
期末試験	
平常点	小テスト・授業態度・提出物

5 その他

年度 2019

授業担当者 倉品 衛

学年 H3

教科 英語

授業名 英語(Foundation)

週 3 時間

1 授業内容と進み方

1学期は、長文読解問題、整序問題、文法問題を解いた後、内容説明を行う。整序問題、文法問題に関しては、毎週確認テストを実施。2学期は前述の内容に英作文を加え、英作文指導を行う。

2 年間計画(単元名)

1 学期	読解、整序、文法
2 学期	読解、整序、文法、英作文
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
(大学入試過去問題)	
(整序問題)	
(文法問題)	

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	整序、文法の確認テスト

5 その他

年度 **2019**

授業担当者 **山根秀雄**

学年 **H3**

教科 **英語**

授業名 **英語演習(基礎)**

週 **3** 時間

1 授業内容と進み方

短い語句・文の組み合わせ関係が分かることで、長い文章であっても理解できるようにする。
文法・構文・文脈をチェックし対応関係をおさえることで、問いに対する正しい答えを見つける練習をする。

2 年間計画(単元名)

1 学期	基礎力養成として、5文型、句と節の違い、名詞句・形容詞句・副詞句の使い分け、 名詞節・形容詞節・副詞節の使い分け、主節と従属節との関係、修飾の仕方、 などに注目し様々な文章で練習する。
2 学期	実践的に入試問題を解く練習をするが、単に答えを求めるだけでなく、 他の同じパターンの英語の文章でも、応用できるようにする。
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
大学入試過去問題	
自作教材	

4 評価方法

方法	備考
期末試験	
小テスト	各問題ごとに、確認テストを実施する。

5 その他

--

年度 2019

授業担当者 岩瀬 丈

学年 H2

教科 情報

授業名 情報

週 1 時間

1 授業内容と進み方

画像や動画といった図像テキストを通して、情報を読み解いていくことを旨とする。昨今の情報の形態を踏まえ、情報とは文字だけによって表されるものではなく、図像テキストと共に構築されることを理解する。

2 年間計画(単元名)

1 学期	写真等を通した情報分析
	動画等を通した情報分析
2 学期	写真等を通した情報分析
	動画等を通した情報分析
3 学期	写真等を通した情報分析
	動画等を通した情報分析

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
身の回りにある広告やポスター等の写真、CM等の動画	

4 評価方法

方法	備考
平常点	授業態度等
レポート	随時、図像テキストに関する分析レポートを書かせる。

5 その他

年度 2019

授業担当者 小川 真一

学年 H2

教科 情報

授業名 情報

週 1 時間

1 授業内容と進み方

教員室のコンピューター(Excel)を使用し、数学 I 第5章データの分析の内容で授業を進める。

2 年間計画(単元名)

1 学期	データの整理
	データの代表値
	データの散らばりと四分位範囲
2 学期	分散と標準偏差
	データの相関
3 学期	演習

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
数学 I	数研出版

4 評価方法

方法	備考
各授業での課題	
実技試験	
筆記試験	

5 その他

年度 2019

授業担当者 與賀田 光嗣

学年 M1

教科

授業名 聖書

週 1 時間

1 授業内容と進み方

毎朝の礼拝、聖書、説教を適時参照する。
 双方向の授業を心がけ、生徒の疑問に応じて授業を組み立てる。
 欧州に生活しているため、宗教と関わりのある時事問題を、年齢に応じたやり方で伝える時間を作る。
 英国の宗教科の教科書を用い、アクティビティなどを通して、考える。

2 年間計画(単元名)

1 学期	世界の宗教人口分布
	イギリスの宗教人口分布
	諸宗教と共生
	1.2 How did the religions start?
2 学期	お盆について
	各宗教におけるお墓の違い
	Remembrance Sunday
	クリスマス
3 学期	1.7 What will you find in the home of some religious people?
	諸宗教における正月
	諸宗教における冬と春の迎え方
	イースター
	2.6 What is life?

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
聖書	
THEMES TO INSPIRE 1 FOR KS3	HODDER EDUCATION

4 評価方法

方法	備考
作文	他者の文化や信仰への理解を示せるかどうか
平常点	

5 その他

年度 2019

授業担当者 與賀田 光嗣

学年 M2

教科

授業名 聖書

週 1 時間

1 授業内容と進み方

毎朝の礼拝、聖書、説教を適時参照する。
 双方向の授業を心がけ、生徒の疑問に応じて授業を組み立てる。
 欧州に生活しているため、宗教と関わりのある時事問題を、年齢に応じたやり方で伝える時間を作る。
 英国の宗教科の教科書を用い、アクティビティなどを通して、考える。

2 年間計画(単元名)

1 学期	世界の宗教人口分布
	イギリスの宗教人口分布
	諸宗教と共生
	1.2 How did the religions start?
2 学期	お盆について
	各宗教におけるお墓の違い
	Remembrance Sunday
	クリスマス
3 学期	1.7 What will you find in the home of some religious people?
	諸宗教における正月
	諸宗教における冬と春の迎え方
	イースター
	2.6 What is life?

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
聖書	
THEMES TO INSPIRE 1 FOR KS3	HODDER EDUCATION

4 評価方法

方法	備考
作文	他者の文化や信仰への理解を示せるかどうか
平常点	

5 その他

年度 2019

授業担当者 與賀田 光嗣

学年 M3

教科

授業名 聖書

週 1 時間

1 授業内容と進み方

毎朝の礼拝、聖書、説教を適時参照する。
 双方向の授業を心がけ、生徒の疑問に応じて授業を組み立てる。
 欧州に生活しているため、宗教と関わりのある時事問題を、年齢に応じたやり方で伝える時間を作る。
 英国の宗教科の教科書を用い、アクティビティなどを通して、考える。

2 年間計画(単元名)

1 学 期	世界の宗教人口分布
	イギリスの宗教人口分布
	諸宗教と共生
	英国内の格差問題
	日本における格差問題
2 学 期	お盆について
	1.3 How do people celebrate?
	Remembrance Sunday
	クリスマス
3 学 期	1.6 How do people celebrate the birth of a baby?
	諸宗教における正月
	諸宗教における冬と春の迎え方
	イースター
	1.8 How do people respond to death?

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
聖書	
THEMES TO INSPIRE 2 FOR KS3	HODDER EDUCATION

4 評価方法

方法	備考
作文	他者の文化や信仰への理解を示せるかどうか
平常点	

5 その他

年度 2019

授業担当者 與賀田 光嗣

学年 H1

教科

授業名 聖書

週 1 時間

1 授業内容と進み方

毎朝の礼拝、聖書、説教を適時参照する。
 双方向の授業を心がけ、生徒の疑問に応じて授業を組み立てる。
 欧州に生活しているため、宗教と関わりのある時事問題を、年齢に応じたやり方で伝える時間を作る。
 英国の宗教科の教科書を用い、アクティビティなどを通して、考える。

2 年間計画(単元名)

1 学期	世界の宗教人口分布
	イギリスの宗教人口分布
	諸宗教と共生
	英国内の格差問題
	日本における格差問題
2 学期	お盆について
	1.3 How do people celebrate?
	Remembrance Sunday
	クリスマス
3 学期	1.6 How do people celebrate the birth of a baby?
	諸宗教における正月
	イースター
	1.8 How do people respond to death?
	2.5 Is there a purpose to life?
	2.6 What is death?

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
聖書	
THEMES TO INSPIRE 2 FOR KS3	HODDER EDUCATION

4 評価方法

方法	備考
作文	他者の文化や信仰への理解を示せるかどうか
平常点	

5 その他

年度 2019

授業担当者 與賀田 光嗣

学年 H2

教科

授業名 聖書

週 1 時間

1 授業内容と進み方

毎朝の礼拝、聖書、説教を適時参照する。
 双方向の授業を心がけ、生徒の疑問に応じて授業を組み立てる。
 欧州に生活しているため、宗教と関わりのある時事問題を、年齢に応じたやり方で伝える時間を作る。
 英国の宗教科の教科書を用い、アクティビティなどを通して、考える。

2 年間計画(単元名)

1 学期	世界の宗教人口分布 イギリスの宗教人口分布
	諸宗教と共生
	英国内の格差問題
	日本における格差問題
	テロ等の社会的、宗教的背景
2 学期	お盆について
	広島、長崎について 浦上天主堂など
	長崎のキリスト教
	Remembrance Sunday
3 学期	クリスマス
	3.1 Whose life is it?
	3.2 Can war ever be justified?
	3.8 What do the religions have in common?

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
聖書	
THEMES TO INSPIRE 3 FOR KS3	HODDER EDUCATION

4 評価方法

方法	備考
作文	他者の文化や信仰への理解を示せるかどうか
平常点	

5 その他

年度 2019

授業担当者 與賀田 光嗣

学年 H3

教科

授業名 聖書

週 1 時間

1 授業内容と進み方

毎朝の礼拝、聖書、説教を適時参照する。
 双方向の授業を心がけ、生徒の疑問に応じて授業を組み立てる。
 欧州に生活しているため、宗教と関わりのある時事問題を、年齢に応じたやり方で伝える時間を作る。
 英国の宗教科の教科書を用い、アクティビティなどを通して、考える。

2 年間計画(単元名)

1 学期	世界の宗教人口分布 イギリスの宗教人口分布
	諸宗教と共生
	死生観について
2 学期	日本宗教史
	イギリスにおける宗教教育(市民性教育)について
	Remembrance Sunday
	クリスマス
3 学期	

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
聖書	
THEMES TO INSPIRE 3 FOR KS3	HODDER EDUCATION

4 評価方法

方法	備考
作文	他者の文化や信仰への理解を示せるかどうか
平常点	

5 その他

年度 2019

授業担当者 桐野 弘毅

学年 P5

教科 国語

授業名 国語

週 4 時間

1 授業内容と進み方

教科書を中心に日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けること、日本の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。また、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにすることに重点を置く。各単元に関するテストを実施し、授業内容の定着をはかる。

2 年間計画(単元名)

1 学期	五年生の国語学習を始めよう
	1 登場人物どうしの関わりをとらえ、感想を伝え合おう
	2 筆者の考えの進め方をとらえ、自分の考えを発表しよう
	3 事実と考えを区別して、活動を報告する文章を書こう
2 学期	4 考えを明確にして話し合い、提案する文章を書こう
	5 すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合おう
	6 説明のしかたの工夫を見つけ、話し合おう
	7 伝記を読んで、自分の生き方について考えよう
3 学期	8 事例と意見の関係をおさえて、自分の考えをまとめよう
	9 特色をとらえながら読み、物語をめぐって話し合おう

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
国語 五 銀河	光村図書

4 評価方法

方法	備考
平常点	授業態度、提出物、ノート、発言内容
その他	単元テスト

5 その他

P5の国語は国語4時間、言語活動1時間で構成されています。学期末の成績はそれぞれ合算して出すことになります。

年度 **2019**

授業担当者 **森本 景子**

学年 **P6**

教科 **国語**

授業名 **国語**

週 **4** 時間

1 授業内容と進み方

教科書に即して進めていく。中学年とは異なり、相手の「意図」をつかみながら聞く・相手の立場に立って話す・要旨を捉えて読むということを重要視する。古典については内容の大体の理解、また昔の人のものの味方や感じ方を知ることが目標とする。

2 年間計画(単元名)

1 学期	1. 支度	6. 本は友達
	2. カレーライス	7. 森へ
	3. 笑うから楽しい	8. 河鹿の屏風
	4. 時計の時間と心の時間	9. 夏のさかり
	5. 学級討論会をしよう	10. ようこそ私たちの学校へ
2 学期	11. せんねん まんねん	16. 鳥獣戯画を読む
	12. たのしみは	17. この絵、私はこう見る
	13. 未来がよりよくあるために	18. 伝えられてきたもの
	14. 生活の中の言葉	19. 狂言 柿山伏
	15. やまなし	20. 日本で使う文字
3 学期	21. 未知へ	26. 今、私は、ぼくは
	22. 自然に学ぶ暮らし	27. 中学へつなげよう
	23. 忘れられない言葉	28. 生きる
	24. ガンジー博士の山登り	29. 生き物はつながりの中に
	25. 海の命	30. かなえられた願いー日本人になることー

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
国語 六 創造	光村図書

4 評価方法

方法	備考
平常点	授業態度・宿題・ノート・発言内容
その他	単元テスト

5 その他

P6の国語は国語4時間、言語活動1時間で構成される。学期末の成績はそれらを合算して出す。

年度 **2019**

授業担当者 **岩瀬 丈**

学年 **P5・6**

教科 **国語**

授業名 **言語活動**

週 **1** 時間

1 授業内容と進み方

学年別漢字配当表に従って、当該学年の漢字を扱う。扱った漢字を用いて、熟語や慣用句等を身につけることを目標とする。

2 年間計画(単元名)

1 学期	五・六年生で習う漢字
	熟語・慣用句等
2 学期	書道(硬筆・毛筆)
3 学期	五・六年生で習う漢字
	熟語・慣用句等

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
小学校学習指導要領 学年別漢字配当表	文部科学省
国語 五 銀河	光村図書
国語 六 創造	光村図書

4 評価方法

方法	備考
平常点	授業態度、提出物
その他	国語Aテスト

5 その他

P5・6の国語は国語4時間、言語活動1時間で構成されています。学期末の成績はそれぞれ合算して出すことになります。

年度 2019

授業担当者 森本 景子

学年 P5

教科 社会

授業名 社会

週 3 時間

1 授業内容と進み方

基本的に教科書に即して進めていく。日本の国土の様子、国土の環境と国民生活との関連について理解できるようにし、環境の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め、国土に対して慈しみを持つことを目標にする。

2 年間計画(単元名)

1 学期	1. わたしたちの国土
	2. わたしたちの生活と食料生産
2 学期	3. わたしたちの生活の工業生産
	4. 情報化した社会とわたしたちの生活
3 学期	5. わたしたちの生活と環境

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
新編 新しい社会 5上	東京書籍
新編 新しい社会 5下	東京書籍
楽しく学ぶ 小学生の地図帳	帝国書院

4 評価方法

方法	備考
平常点	授業態度・提出物・ノート・発言内容
その他	単元テスト

5 その他

フィールドワークに出かけることがある。

年度 2019

授業担当者 梶野 弘毅

学年 P6

教科 社会

授業名 社会

週 3 時間

1 授業内容と進み方

教科書を中心に、以下の2点に重点を置く。(1)政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、日本と関係の深い国の生活や国際社会における日本の役割について理解する。(2)代表的な文化遺産や人物の働きを通して日本の歴史や伝統について理解する。各単元に関するテストを実施し、授業内容の定着をはかる。

2 年間計画(単元名)

1 学期	1 縄文のむらから古墳のくにへ
	2 天皇中心の国づくり
	3 貴族のくらし
	4 武士の世の中へ
	5 今に伝わる室町文化 6 3人の武将と天下統一 7 江戸幕府と政治の安定
2 学期	8 町人の文化と新しい学問
	9 明治の国づくりを進めた人々
	10 世界に歩み出した日本
	11 長く続いた戦争と人々のくらし
	12 新しい日本、平和な日本
3 学期	1 震災復興の願いを実現する政治
	2 国の政治としくみ
	3 わたしたちのくらしと日本国憲法
	1 日本とつながりの深い国々
	2 世界の未来と日本の役割

3 教科書・副教材

	出版社名
新編 新しい社会	東京書籍
家庭学習用 楽しく学ぶ 小学生の地図帳	帝国書院

4 評価方法

方法	備考
平常点	授業態度、提出物、ノート、発言内容
その他	単元テスト

5 その他

年度 2019

授業担当者 森本 景子

学年 P5

教科 算数

授業名 算数

週 5 時間

1 授業内容と進み方

基本的に教科書に即して進めていく。既習を生かして定義を予想・拡張し、公式をただ丸暗記するのではなく、自ら導き出せるようその過程を大切にしていく。また学習課題を自ら発見できるよう、数学的な思考を言語化する活動を多く取り入れる。日常的に「なぜ」と考えられる態度を育成する。

2 年間計画(単元名)

1 学期	1. 整数と小数
	2. 直方体や立方体の体積
	3. 比例
	4. 小数のかけ算
	5. 小数のわり算
	6. 合同な図形
2 学期	7. 偶数と奇数, 倍数と約数
	8. 分数と小数, 整数の関係
	9. 分数のたし算とひき算
	10. 単位量あたりの大きさ
	11. 図形の角
	12. 四角形と三角形の面積
3 学期	13. 百分率とグラフ
	14. 正多角形と円周の長さ
	15. 分数のかけ算とわり算
	16. 角柱と円柱

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
新編 新しい算数 5上	東京書籍
新編 新しい算数 5下	東京書籍

4 評価方法

方法	備考
平常点	授業態度・提出物・ノート・発言内容
その他	単元テスト

5 その他

習熟度の高い児童に関しては別途難易度の高い問題を自主学習課題として提供する。

年度 2019

授業担当者 梅野 弘毅

学年 P6

教科 算数

授業名 算数

週 5 時間

1 授業内容と進み方

教科書を中心に、以下の4点に重点を置く。(1) 分数の乗法及び除法の意味についての理解を深め、計算の仕方を考え、用いることができるようにする。(2) 円の面積及び角柱などの体積を求めることができるようにするとともに、速さについて理解し、求めることができるようにする。(3) 縮図や拡大図、対称な図形について理解を深める。(4) 比や比例について理解し、数量の関係の考察に関数の考えを用いることができるようにするとともに、文字を用いて式に表すことができるようにする。また、資料の散らばりを調べ統計的に考察することができるようにする。

2 年間計画(単元名)

1 学期	1 対称な図形
	2 円の面積
	3 文字と式
	4 分数のかけ算
	5 分数のわり算 6 角柱と円柱の体積 7 およその面積や体積
2 学期	8 比と比の値
	9 拡大図と縮図
	10 速さ
	11 比例と反比例
	12 並べ方と組み合わせ方
3 学期	13 資料の調べ方
	14 量の単位のしくみ

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
新編 新しい算数	東京書籍

4 評価方法

方法	備考
平常点	授業態度、提出物、ノート、発言内容
その他	単元テスト

5 その他

年度 **2019**

授業担当者 **金子 浩和**

学年 **P5**

教科 **理科**

授業名 **理科**

週 **3** 時間

1 授業内容と進み方

わたしたちの地球では、何億年も前から生物が子孫を残し、その命をつないできました。5年では、命が繋がれていくしくみや地球で起こっているさまざまな変化などについて学びます。確かな結果を出すために条件を整えて調べ、みんなで考えていきます。

2 年間計画(単元名)

1 学期	1 天気と情報(1) 天気の変化
	2 生命のつながり(1) 植物の発芽
	3 生命のつながり(2) 植物の生長
	4 生命のつながり(3) メダカのたんじょう
	5 生命のつながり(4) 人のたんじょう
2 学期	自由研究
	6 生命のつながり(5) 植物の実や種子のでき方
	天気と情報(2) 台風と天気の変化
	7 流れる水のはたらき
3 学期	8 電磁石の性質
	9 もののとけ方
	10 ふりこの動き

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
新版 楽しい理科 5年	大日本図書
理科EXテスト	日本標準

4 評価方法

方法	備考
小テスト	
その他	実験

5 その他

ヨウ素でんぷん反応、そうがん実態けんび鏡の使い方、けんび鏡の使い方、かんいけん流計の使い方、電子てんびんの使い方、メスシリンダーの使い方、薬品のあつかい方と実験の注意
ろ過のしかた、実験用ガスこんろの使い方

年度 2019

授業担当者 金子 浩和

学年 P6

教科 理科

授業名 理科

週 3 時間

1 授業内容と進み方

わたしたちの地球には、豊かな水、空気があり、太陽の光のもとで植物や動物が生きています。6年では、それらが深く関わり合っていること、人間の活動と自然とが深く関わっていることなどについて学びます。
自分たちで調べた多くの事実を関係づけながら、人間の活動と地球環境の関わりについて、みんなで考えていく。
確かな結果を出すために条件を整えて調べ、みんなで考えていきます。

2 年間計画(単元名)

1 学期	私たちの生活と環境
	1 ものの燃え方
	2 植物の成長と日興の関わり
	3 体のつくりとはたらき
2 学期	4 植物の成長と水の関わり
	5 生物どうしの関わり
	自由研究
	6 月と太陽
3 学期	7 水よう液の性質
	8 土地のつくりと変化
	9 てこのはたらき
	10 電気の性質とその利用
	11 生物と地球環境

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
新版 楽しい理科 6年	大日本図書
理科EXテスト	日本標準

4 評価方法

方法	備考
小テスト	
その他	実験

5 その他

石灰水の使い方、けんび鏡の使い方、リトマス紙の使い方
薬品のあつかい方と実験の注意、こまごめピペットの使い方、コンデンサーの使い方

年度 2019

授業担当者 梶野 弘毅

学年 P5・6

教科 保健・体育

授業名 体育

週 1 時間

1 授業内容と進み方

陸上競技、球技に分け以下の2点を目標とする。(1)各種の運動の行い方や心の健康、けがの防止及び病気の予防について理解するとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能を身に付けること及び体力を養う (2)自己やグループの運動の課題や健康に関する自己の課題を見付け、その解決方法を工夫するとともに、それについて自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養うこと 球技では、練習を通して基本的な技能を身につけたうえで試合を行う。

2 年間計画(単元名)

1 学期	テニス
2 学期	バスケットボール
	ソフトバレーボール
3 学期	水泳

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
新・みんなの保健 5・6年	学研

4 評価方法

方法	備考
平常点	授業態度
その他	練習内容、試合内容

5 その他

P5, 6の体育は陸上競技1時間、球技1時間で構成されています。学期末の成績は陸上競技と球技を合算して出すことになります。また、時間割等の都合により、授業内容が内容が変更する場合があります。

年度 2019

授業担当者 森本 景子

学年 P5・6

教科 図画工作

授業名 図画工作

週 1 時間

1 授業内容と進み方

造形遊び・立体・工作・鑑賞に関する活動を中心に以下の2点を目標に授業を展開していく。(1)材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題や用途に合った表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。(2)創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、作品のよさや美しさを感じ取り、大切にし、作り出す喜びを味わうようにする。
日本の伝統や文化を知る単元からオープンデイへとつなげていく。

2 年間計画(単元名)

1 学期	1. フロッタージュとコラージュ
	2. 消して描く
	3. 作ろう！ふわふわマーブリング
	4. 日本の紋様を切り取ろう
2 学期	4. 感じて、考えて～オープンデイの模型や看板を作ろう！～
	5. かがやく世界
	6. 張子の犬
3 学期	7. 版から広がる世界
	8. サンキューカード作り

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
見つめて 広げて 図画工作 5・6上	日本文教出版
見つめて 広げて 図画工作 5・6下	日本文教出版

4 評価方法

方法	備考
平常点	授業態度・提出物・ノート・発言内容
その他	作品・実習の様子

5 その他

スケッチやデッサンなどについては美術の時間に行う。ワークショップに参加することもある。

年度 **2019**

授業担当者 **森本 景子**

学年 **P5・6**

教科 **家庭**

授業名 **家庭**

週 **2** 時間

1 授業内容と進み方

「生活を見つめ直す」「気づく」「考える・調べる・話し合う」「わかる・できる」「生活に活かす・工夫する」という5つのプロセスを大切にしていく。

2 年間計画(単元名)

1 学期	1. わたしと家族の生活-立教英国学院は大家族-
	2. はじめてみようソーイング
	3. はじめてみようクッキング
	4. かたづけよう身の回りの物
	5. やってみよう家庭の仕事
2 学期	6. 食べて元気に
	7. わくわくミシン・楽しくソーイング
	8. イギリスのお菓子を作ろう
	9. 寒い季節を快適に
3 学期	10. クリスマスの準備をしよう
	11. クラスでほっとタイム
	12. クリーン大作戦
	13. 共に生きる生活

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
わたしたちの家庭科	開隆堂

4 評価方法

方法	備考
平常点	授業態度・提出物・ノート・発言内容
その他	作品・実習の様子

5 その他

実習に関しては特に安全管理の指導を徹底させる。守れない児童については授業に参加させない。

年度 **2019**

授業担当者 **田中(谷岡)裕紀・マルコビッチ**

学年 **P5・6**

教科 **英語**

授業名 **英語**

週 **2** 時間

1 授業内容と進み方

中学一年生の基本的な文法単元の導入のために、grammar in useの観点から授業を行う。またイギリスでの寮生活に欠かせないコミュニケーションスキルの向上を主とする。学期ごとの行事で実際に話す、使うことができる英語表現を楽しみながら学ぶため、週に一回の日本人英語教諭による文法項目、表現を導入するクラスと実際に話し、英語で表現をする実践的なアウトプットのteam teachingのクラスを展開する。

2 年間計画(単元名)

1 学期	Alphabet
	Greetings and self-introduction
	Direction
	How to shop and order/ About British currency
	Travelling and Holiday
2 学期	Feelings---How are you? I'm happy.
	Counting---How many pencils?
	Like1---I like~.I don't like~.Do you like~?Yes, I do./ No I don't.
	Like2---What do you like~? What animal do you like~? I like rabbits.
	Want---What do you want?
3 学期	Have---Do you have~? Yes, I do./No, I don't.
	Calendar---When is your birthday? My birthday is ~.What day is it? What is the date today?
	Can---I can/ can't~. Can you~? Yes, I can./No, I can't,
	Daily routine---I get up at seven. What time do you get up?
	End of year roundup

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
Easy learning handwriting bumper books	Collins
Easy learning comprehension	Collins
New Horizon English Course 小中接続編	東京書籍

4 評価方法

方法	備考
平常点	授業での取り組み、宿題
その他	4技能

5 その他

授業の進捗状況によって、内容・進度を変更する可能性があります。

年度 2019

授業担当者 梶野 弘毅

学年 P5・6

教科 総合

授業名 総合的な学習の時間

週 1 時間

1 授業内容と進み方

探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。情報を生かし積極的に社会に参画しようとする態度を養うようにすることを目標とする。授業では、タンザニアの現状を調べ、問題意識をもったうえで自分たちに何ができるのか考える。タンザニア女性の経済的自立を助成するためにチャリティー活動に参加する。

2 年間計画(単元名)

1 学期	タンザニアについて調べよう
2 学期	チャリティー活動に参加しよう
3 学期	活動内容を報告しよう

3 教科書・副教材

教材名	出版社名

4 評価方法

方法	備考

5 その他

年度 2019

授業担当者 與賀田 光嗣

学年 P5・6

教科

授業名 聖書

週 1 時間

1 授業内容と進み方

毎朝の礼拝、聖書、説教を適時参照する。

双方向の授業を心がけ、児童の疑問に応じて授業を組み立てる。

欧州に生活しているため、宗教と関わりのある時事問題を、年齢に応じたやり方で伝える時間を作る。

2 年間計画(単元名)

1 学 期	世界の宗教人口分布
	イギリスの宗教人口分布
	諸宗教と共生
2 学 期	お盆について
	各宗教におけるお墓の違い
	Remembrance Sunday
	クリスマス
3 学 期	諸宗教における正月
	諸宗教における冬と春の迎え方
	イースター

3 教科書・副教材

教材名	出版社名
聖書	

4 評価方法

方法	備考
作文	他者の文化や信仰への理解を示せるかどうか
平常点	

5 その他